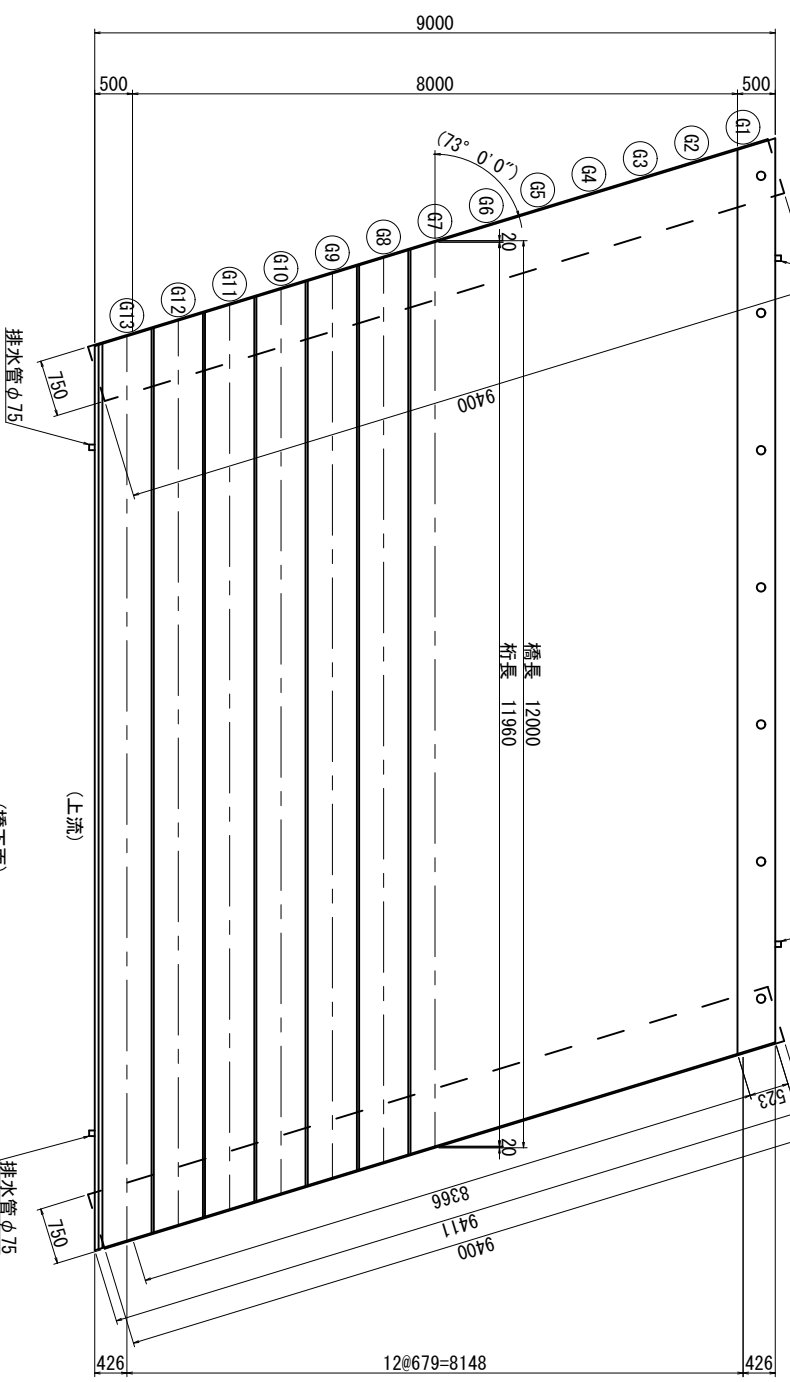
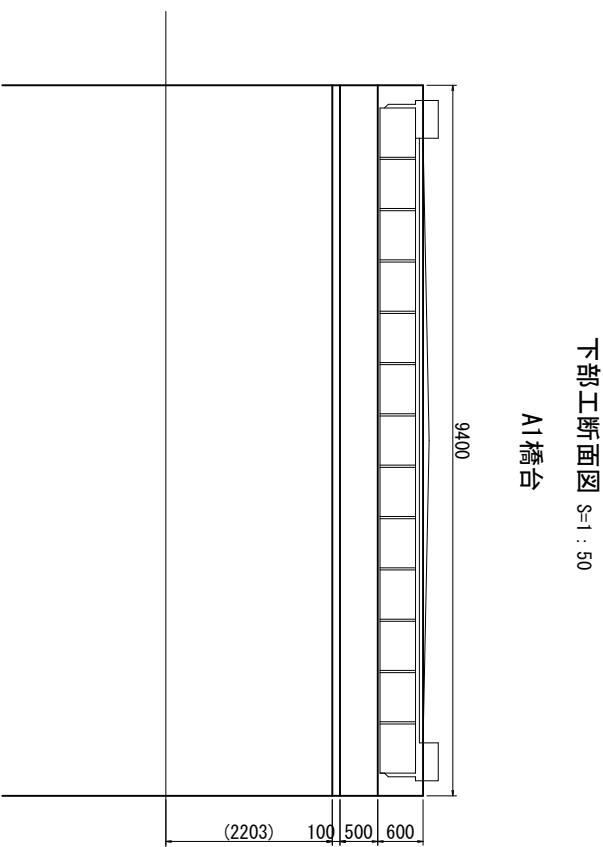
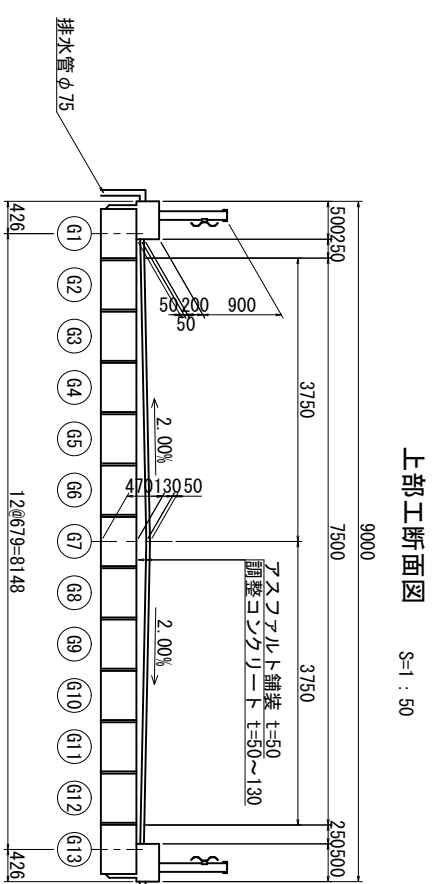
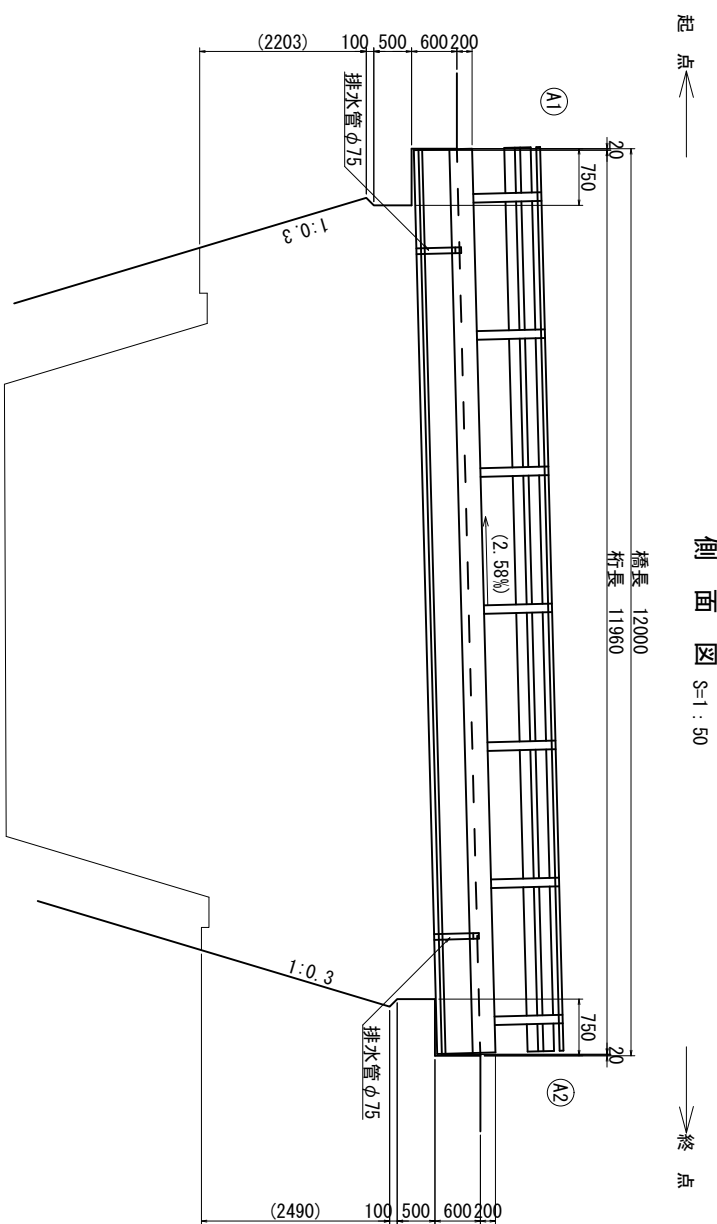


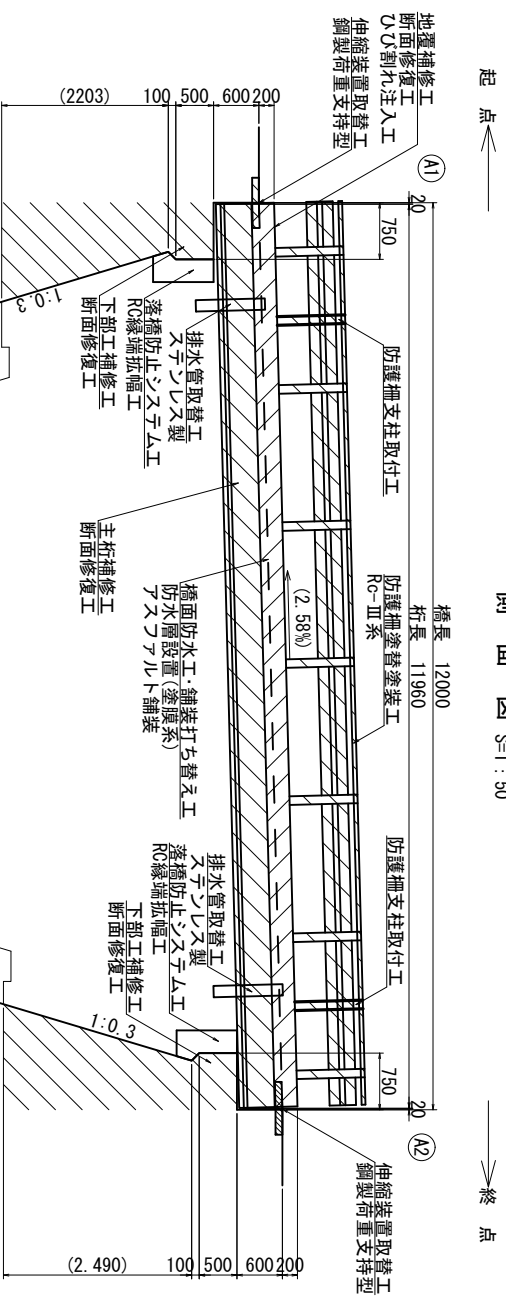
山の田橋 現況一般図



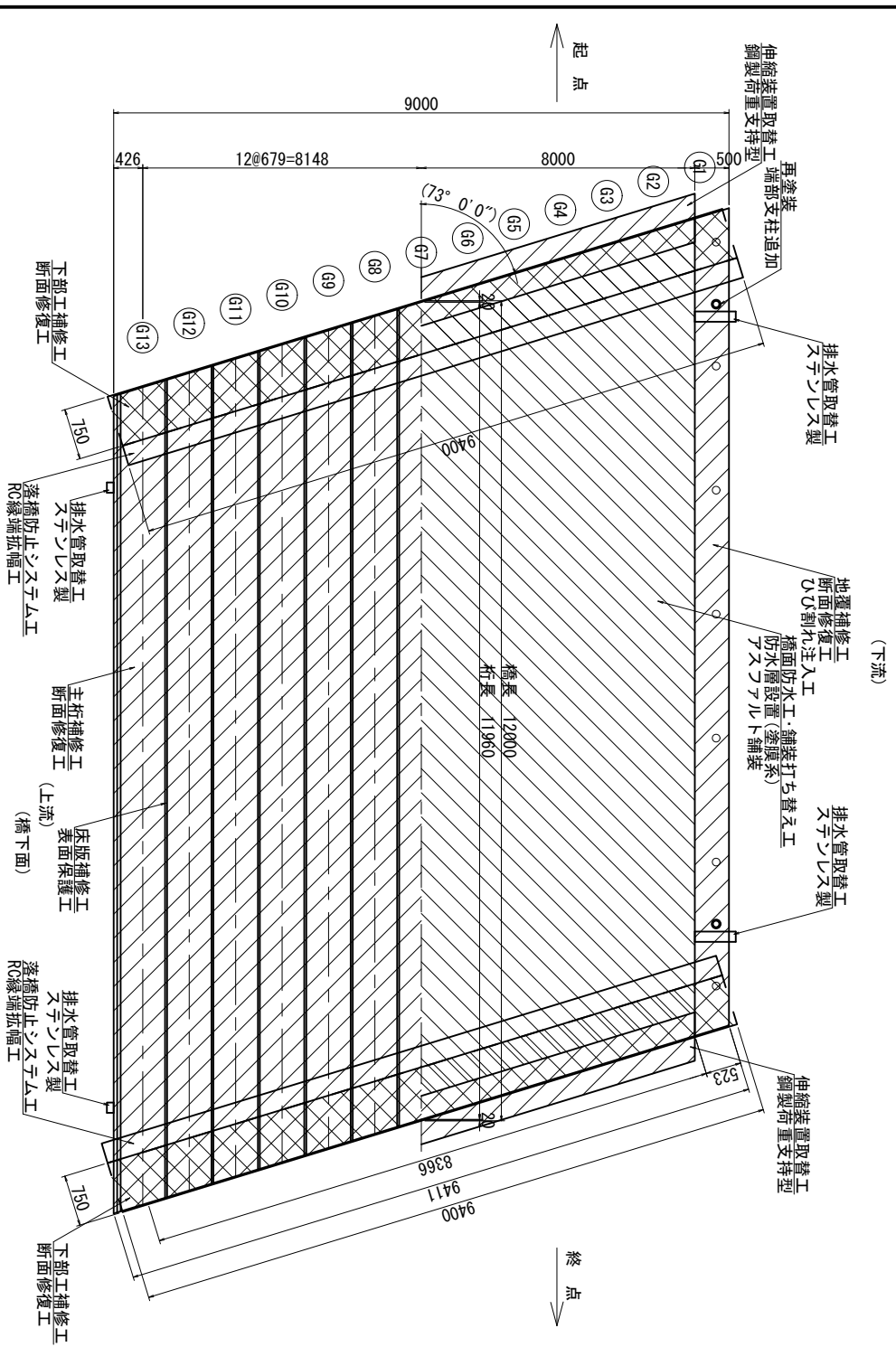
令和元年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修工事	図示
番号 1/15	現況一般図
実施町 山の田橋 実施年度 令和元年度 実施箇所 橋梁補修工事 設計者 筑輪町役場 設計 照査技術者 牧田一男 設計会社 (株)ノアド 照査技術者 牧田一男 測量会社 照査会社 調査会社 照査会社	

山の田橋 補修一般図

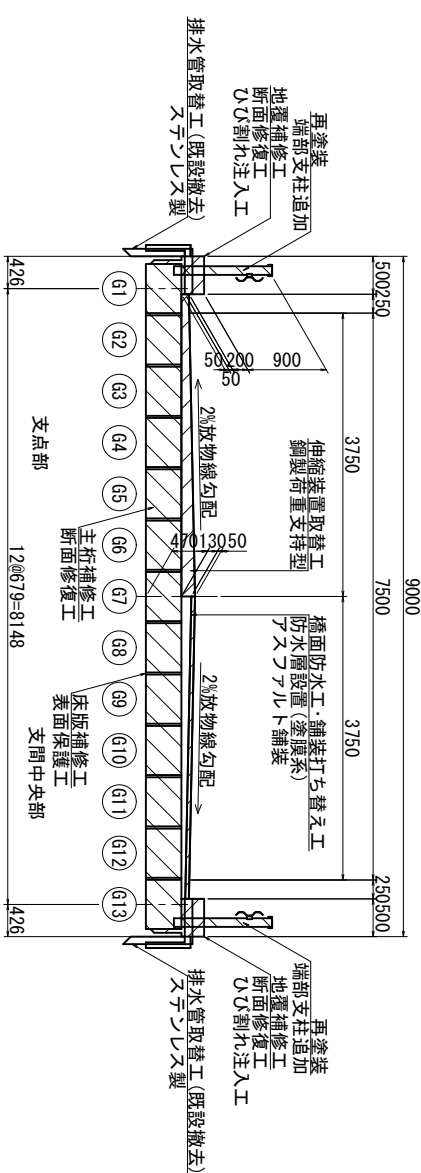
側面図 S=1:50



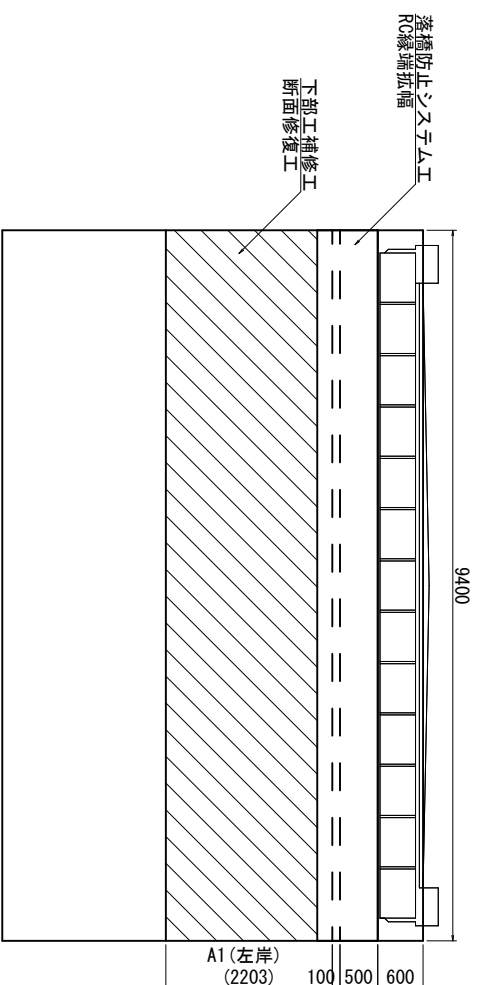
平面図 S=1:50



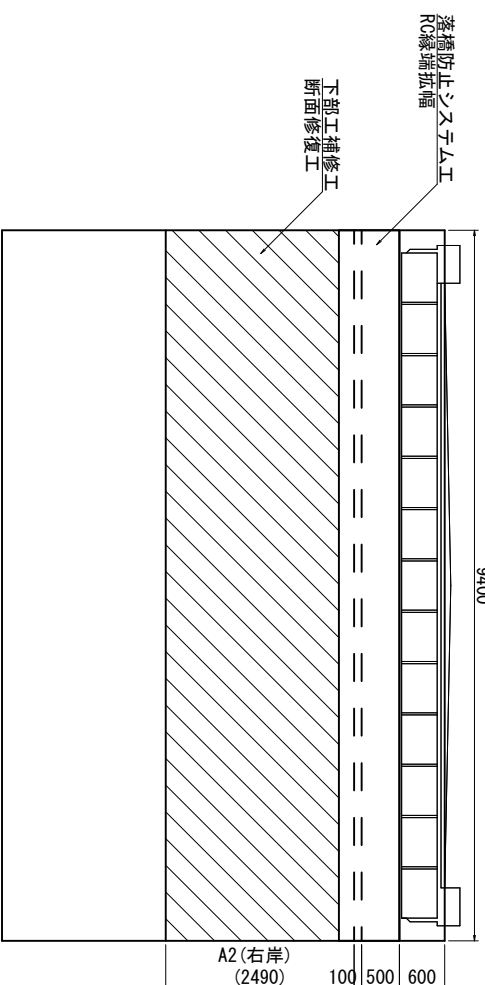
上部工断面図 S=1:50



下部工断面図 S=1:50

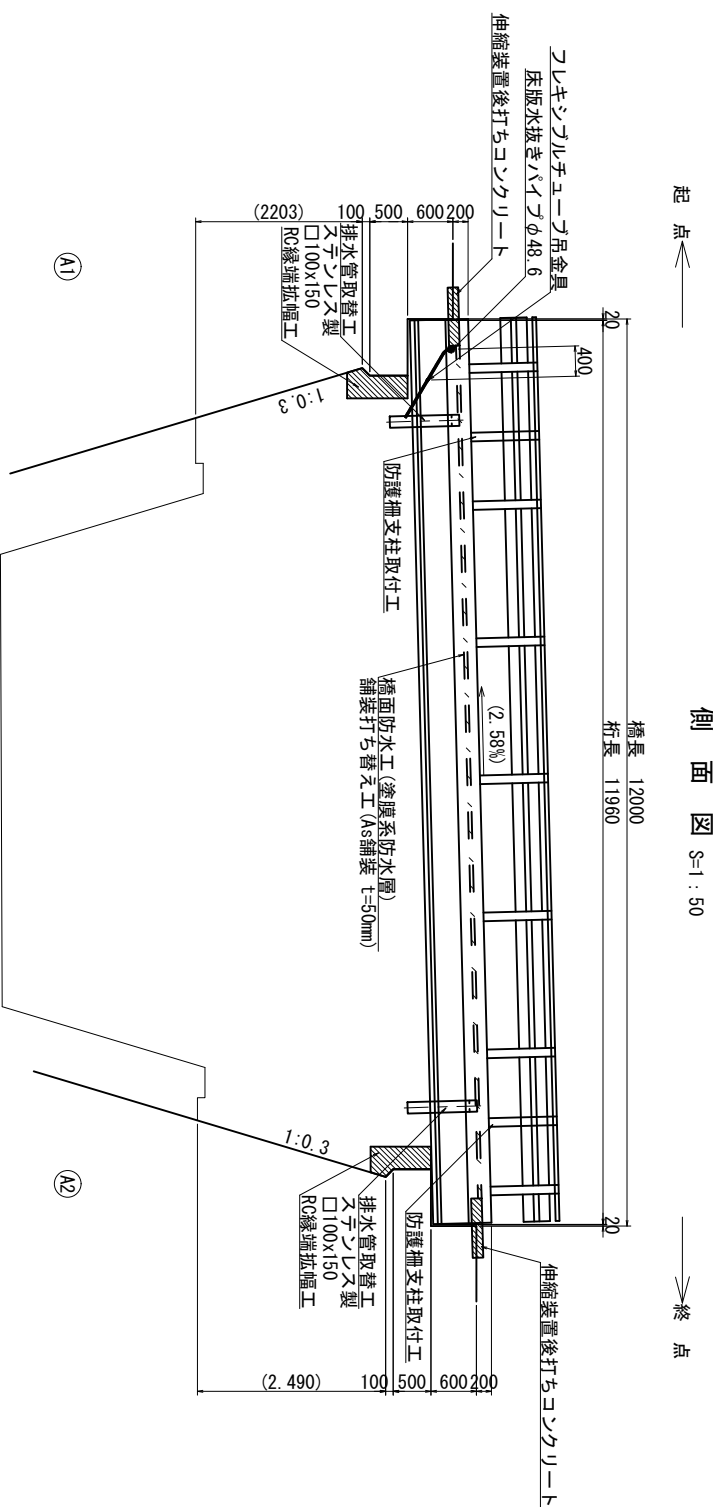


下部工断面図 S=1:50



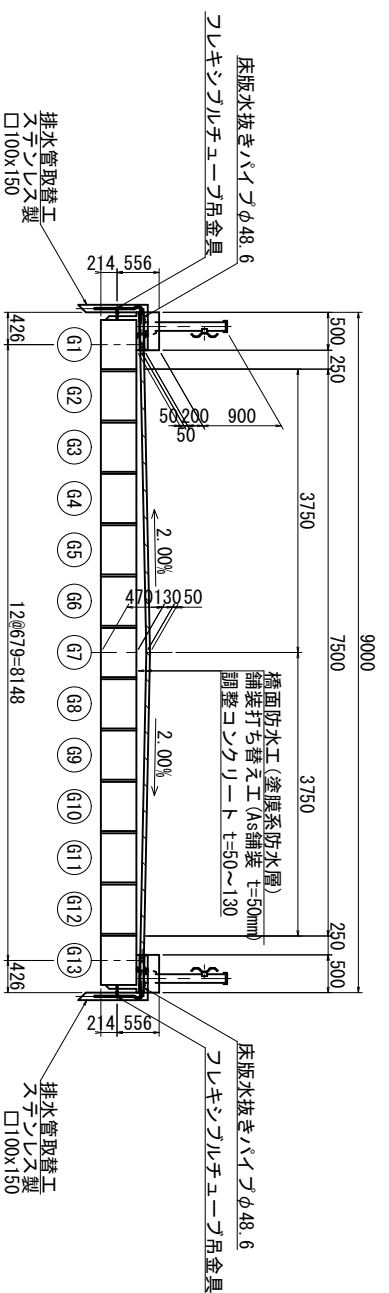
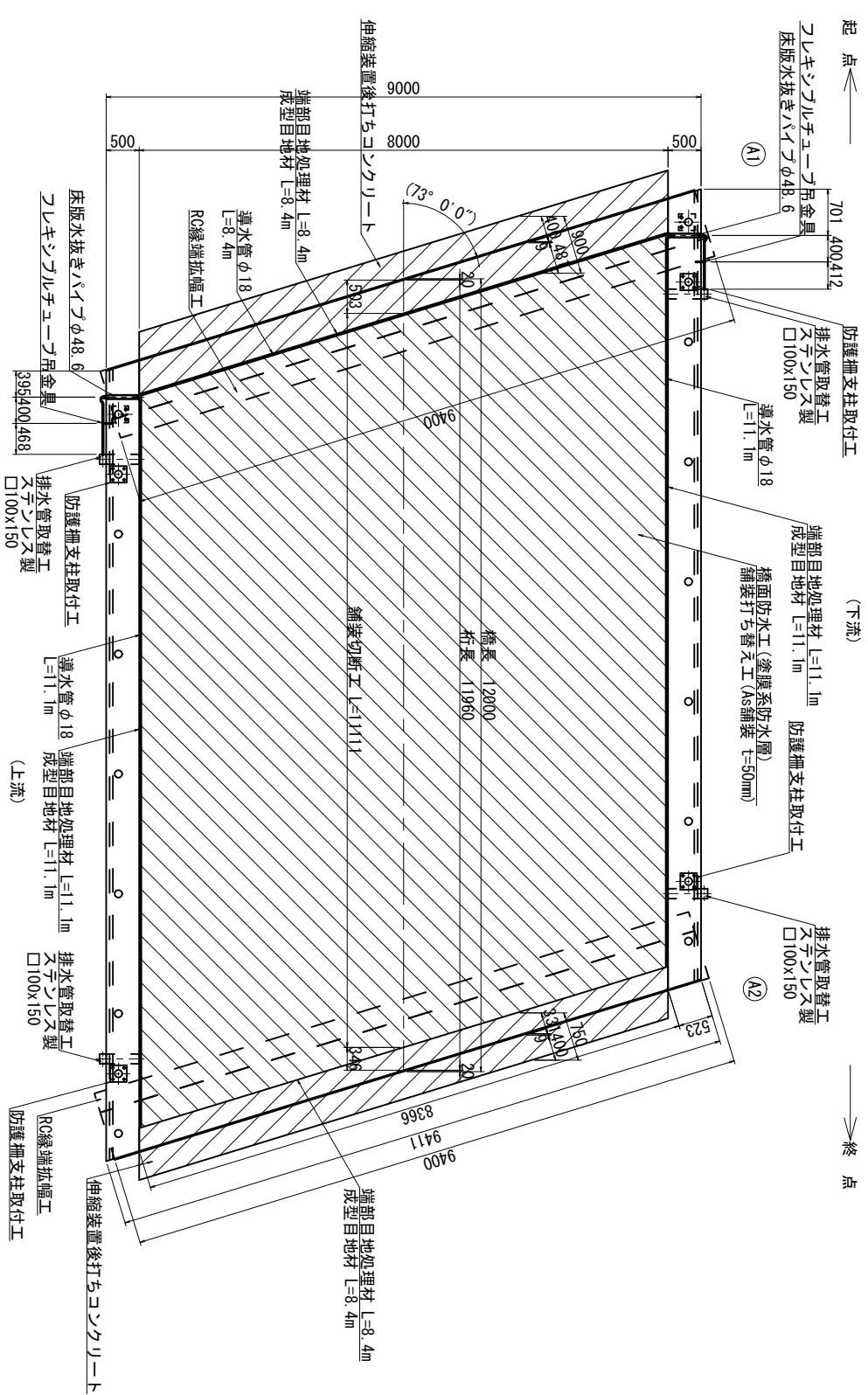
令和元年度 社会資本整備総合交付事業 橋梁補修工事	
番号 2/5	補修一般図 図示
築橋町 山の田橋	
図例	築橋町役場
設計者	管理技術者 工藤博正
設計会社	(株)ノイド 調査技術者 牧田一男
測量会社	
調査会社	

山の田橋 橋面防水工詳細図(その1)



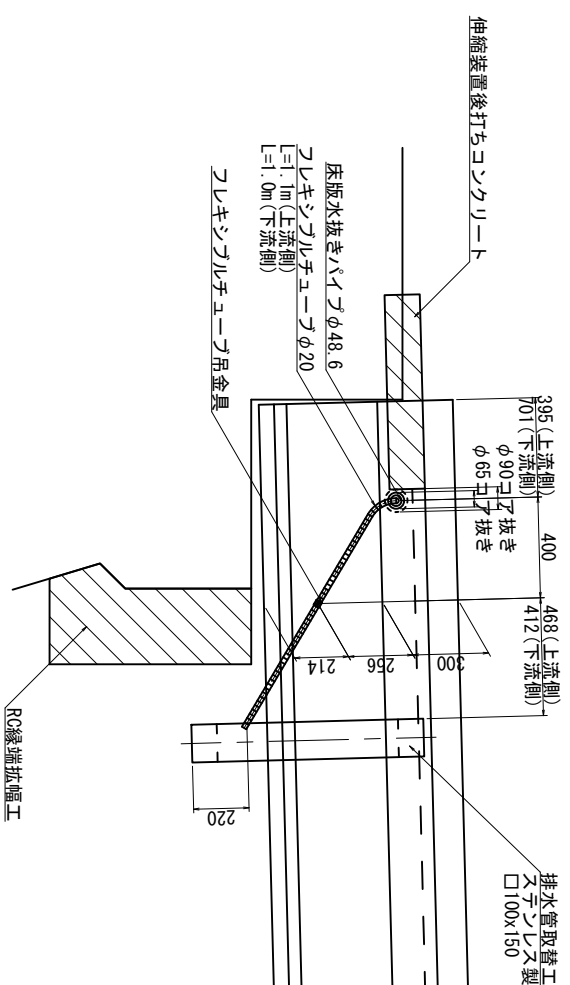
側面図 S=1:50

平面図 S=1:50



上部工断面図 S=1:50

床版水抜きパイプ設置詳細図 S=1:15



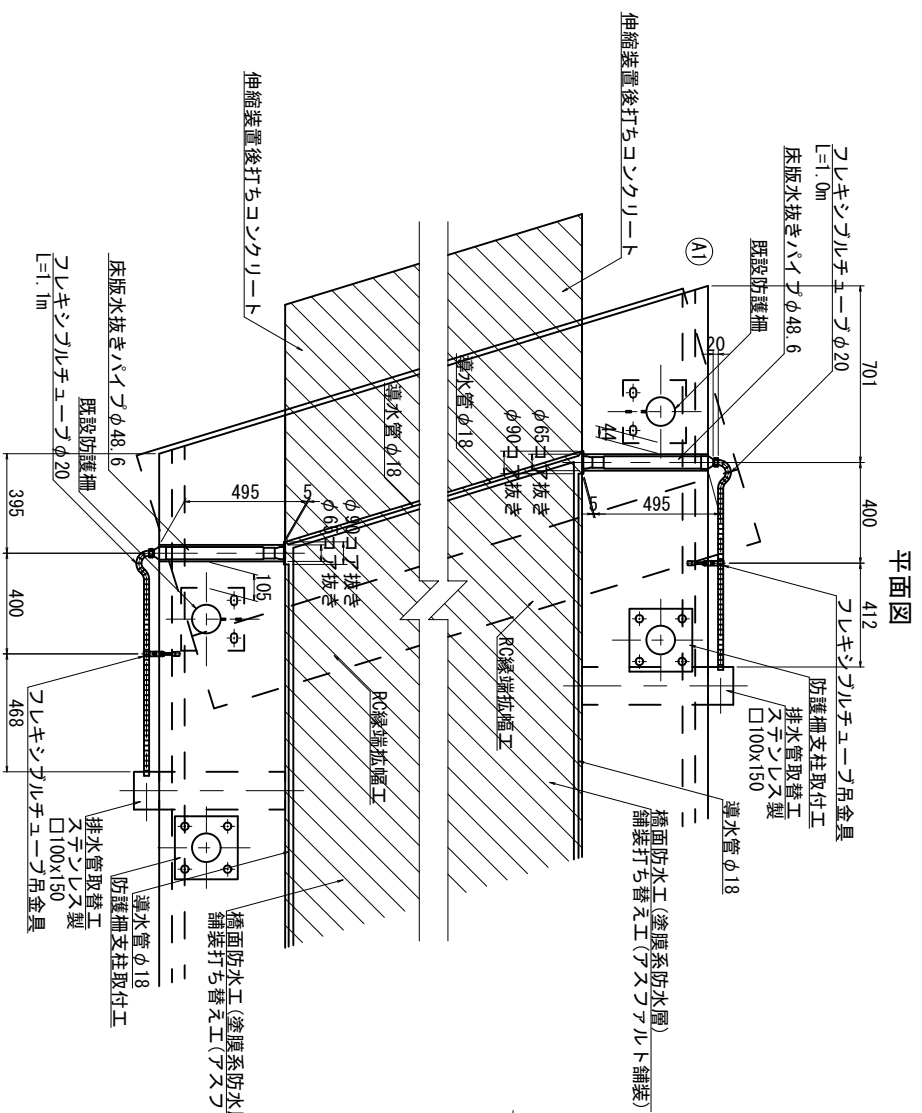
側面図

注1) 地覆をコア抜きする際に、事前に鉄筋探査を行い地覆筋を切断しないようにすること。
注2) 2.0%程度の排水勾配を設けること。

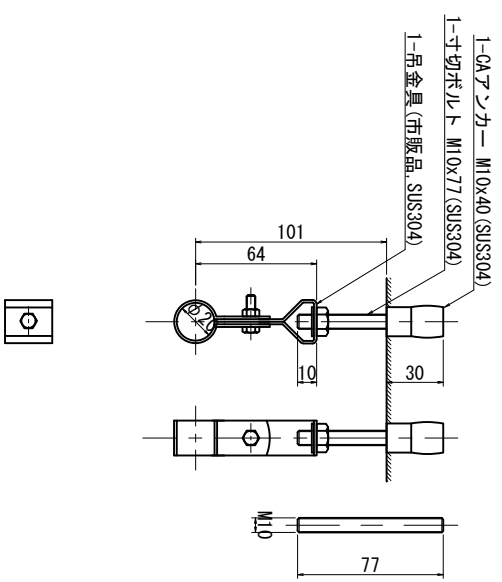
令和元年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修工事	図示
番号 3/15	橋面防水工詳細図(1)
実施年度	設計
実施場所	監理
実施内容	管理技術者
設計会社 (株)ノイド	工事補正
監理会社	調査技術者 牧田一男
設置会社	

山の田橋 橋面防水工詳細図(その2)

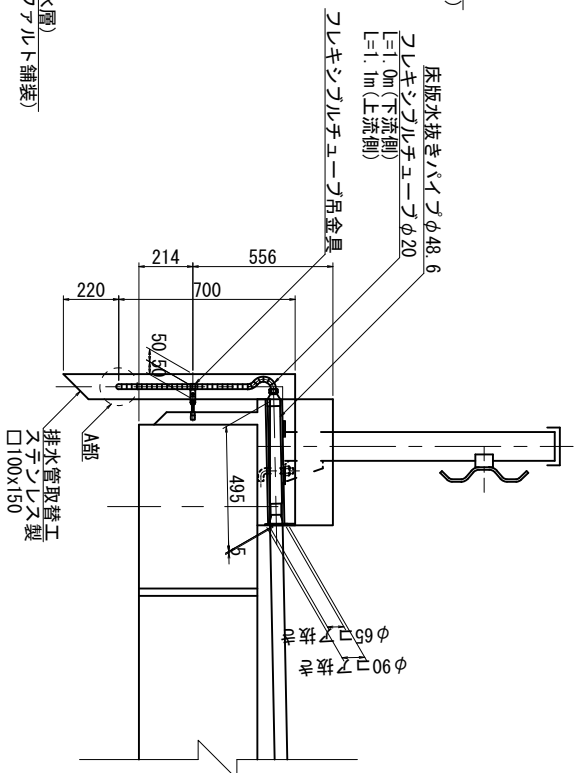
床版水抜きパイプ設置詳細図 S=1:15



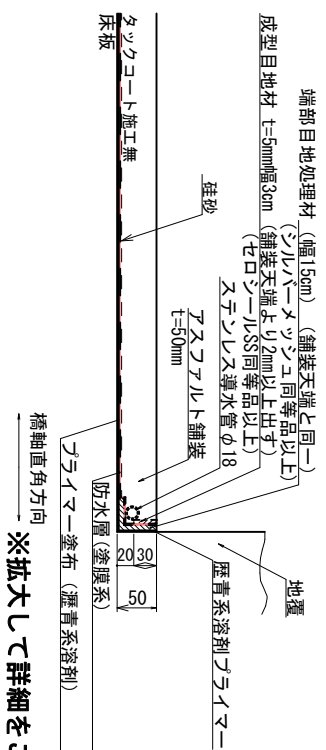
コレシナルチューブ吊金具詳細図 S=1:2
(同等品以上とする)



断面図

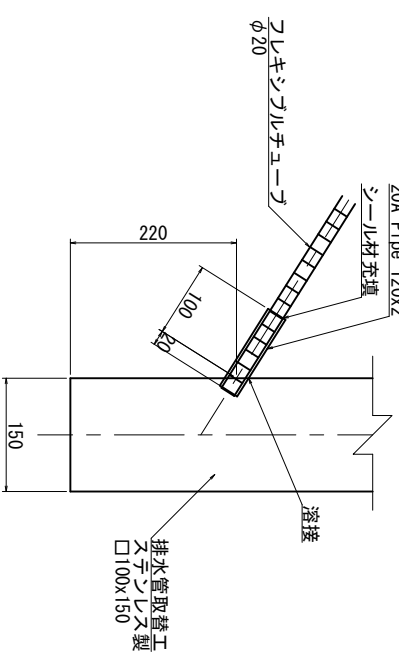


舗装端部処理詳細図 S=1:5
(メーカーの意図により、本図と異なる場合は、監督者と協議のこと)



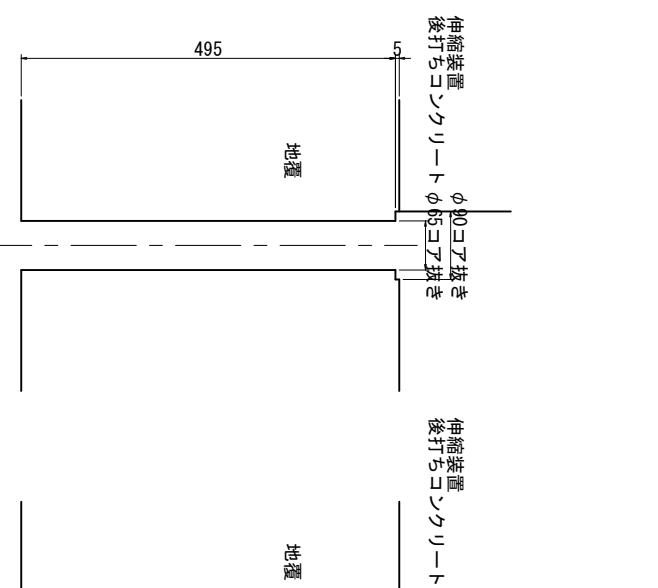
※拡大して詳細をご確認ください。

コレシナルチューブ接続部詳細図 S=1:5
(同等品以上とする) (A部)

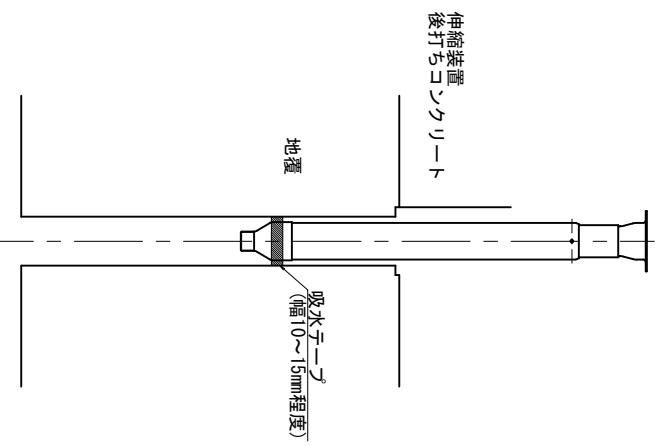


床版水抜きパイプ施工手順図 S=1:5

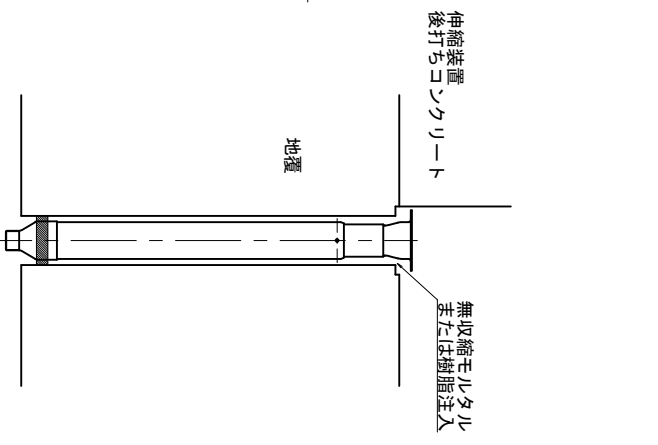
1. 床版水抜きパイプ設置孔の削孔



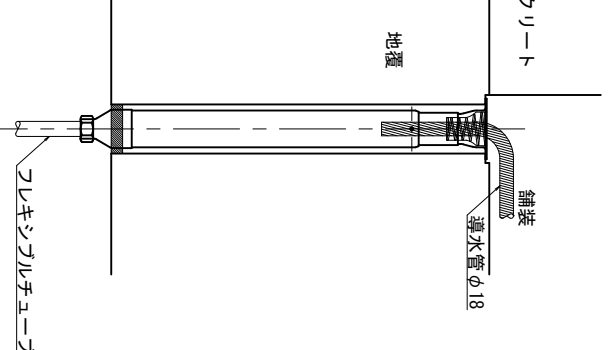
2. 床版水抜きパイプの設置



3. 充填材の注入



4. コレシナルチューブの設置

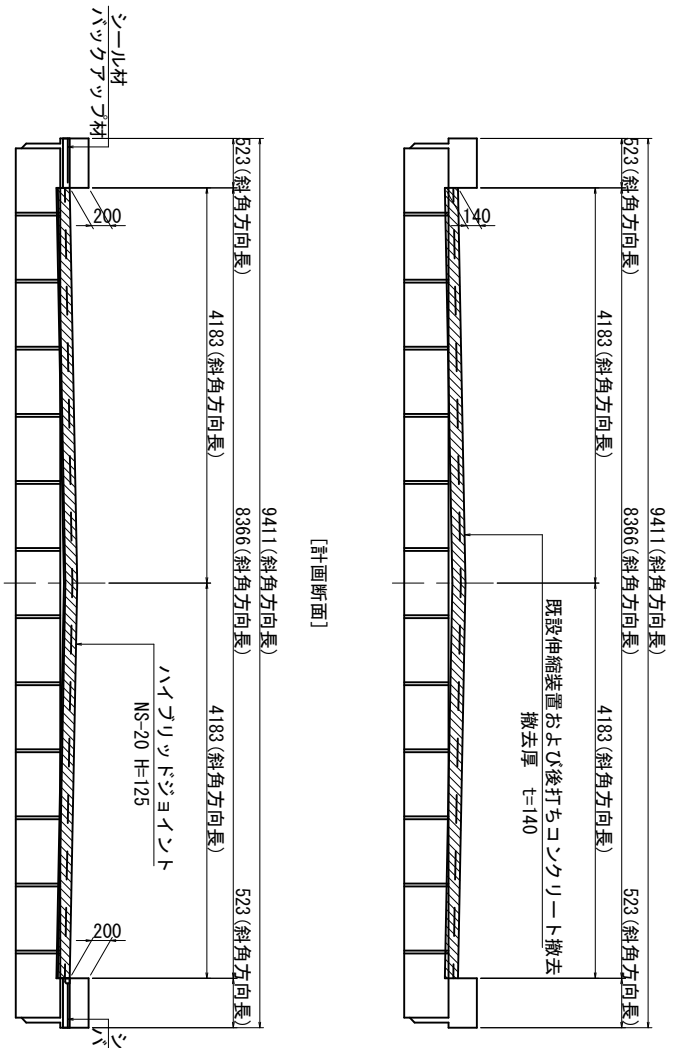


注1) 地覆をコア抜きする際に、事前に鉄筋探査を行い地覆筋を切断しないようにすること。
2) 2.0%程度の排水勾配を設けること。

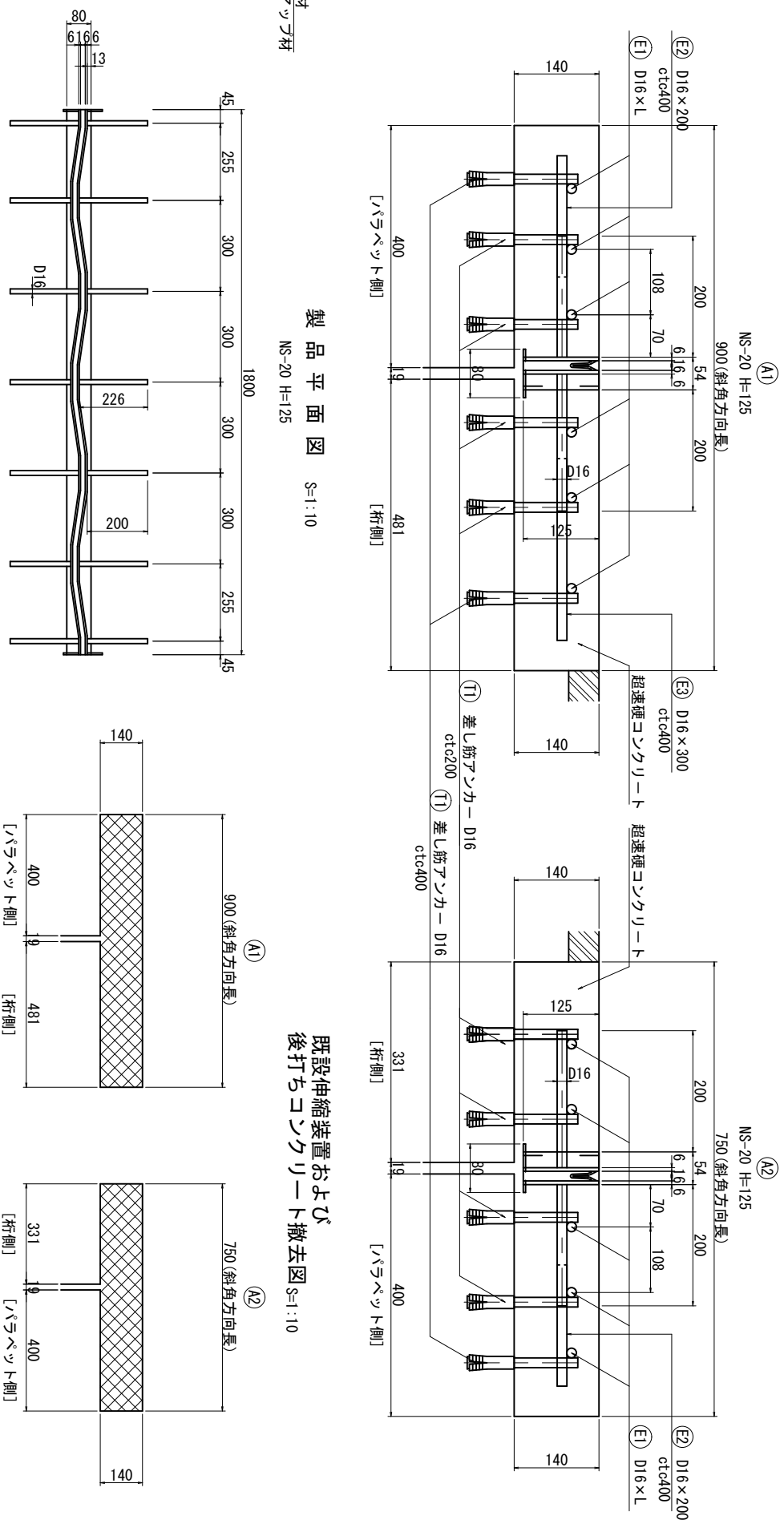
令和5年度 社会資本整備総合交付事業 橋梁修繕	町道1号線			図示
第4/15	橋面防水工詳細図(2)			
実施者	実務者	監査者	設計者	
山田橋	山の田橋	照	照	
実務者	実務者	管理技術者	設計者	
(株)ノアド	(株)ノアド	照査技術者	照査技術者	
測量会社	測量会社	工務修正	工務修正	
測量会社	測量会社	牧田一男	牧田一男	
測量会社	測量会社			

山の田橋 伸縮装置補修図

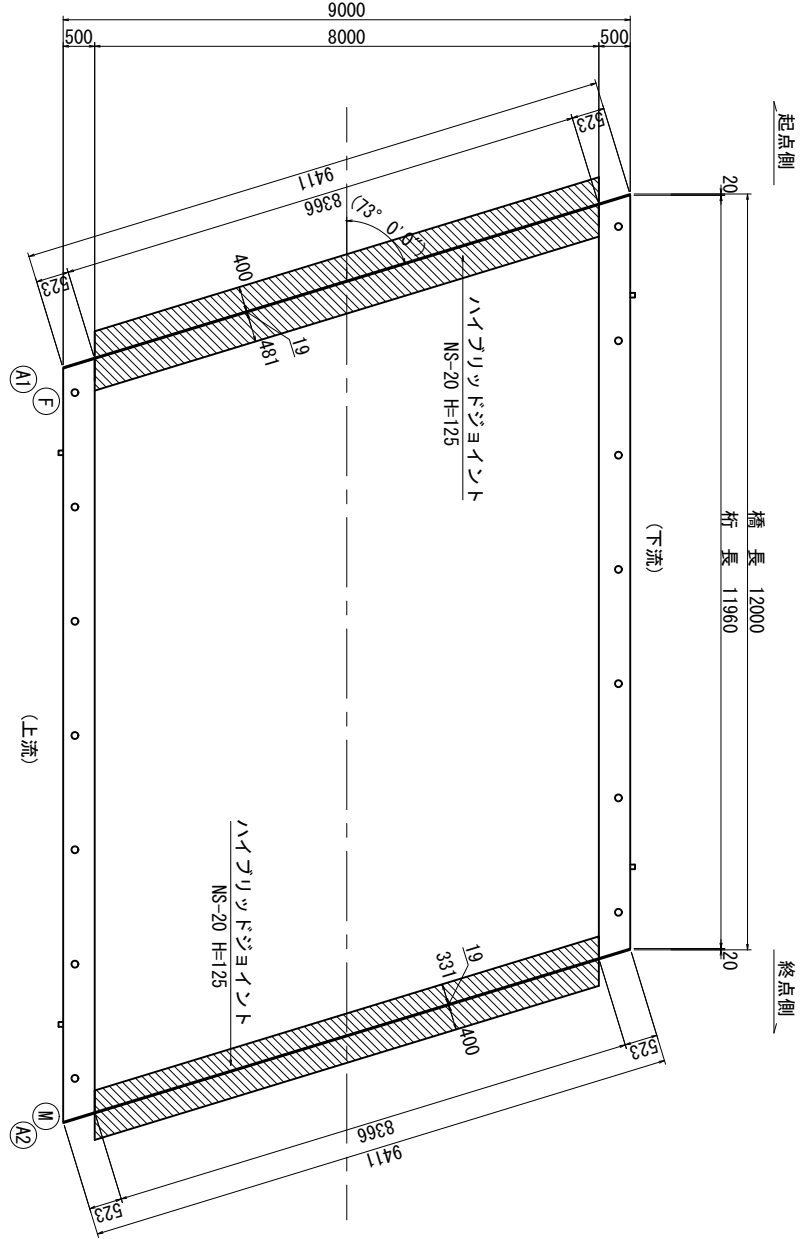
断面図 S=1:40
[撤去断面]



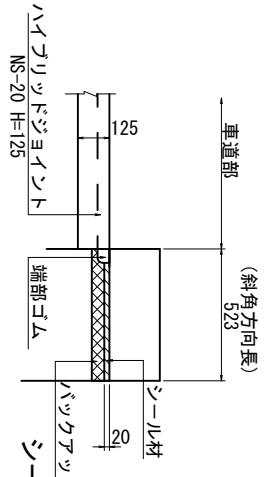
取付断面図 S=1:5



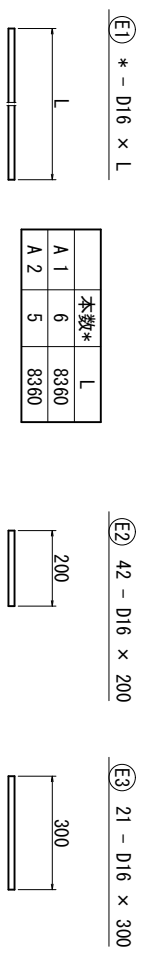
位置図 S=1:60



地覆部止水処理図 S=1:15



鉄筋加工図



シール材・バツクアツク材数量
A1幅1.96m×深さ2cm×長さ52.3cm×2箇所/1000=0.4リッター
A2幅1.96m×深さ2cm×長さ52.3cm×2箇所/1000=0.4リッター

補修数量表 (※ハイブリッドジョイント同等品以上)

品名	寸法	単位	A1	A2	合計	備考
ハイブリッドジョイント	NS-20 80×125h×L	m	8.366	8.366	16.732	
補強鉄筋	E1 * - D16 × L	kg	78.2	65.2	143.4	
	E2 D16 × 200	本	21	21	42	W= 13.1 kg
	E3 D16 × 300	本	21	21	21	W= 9.8 kg
差し筋アンカー	T1 D16 × 200	本	209	188	397	
超速硬コンクリート		m³	1.025	0.849	1.874	
シール材	シリコン系 比重=1.02 リッター	l	0.4	0.4	0.8	
バツクアツク材		m	1.046	1.046	2.092	

撤去数量表

品名	寸法	単位	A1	A2	合計	備考
既設伸縮装置		m	8.366	8.366	16.732	
コンクリート		m³	1.054	0.878	1.932	

令和元年度 社会資本整備総合交付事業 橋梁補修工事
5/15 伸縮装置補修図 図示

町道1号線 箕輪町 山の田橋

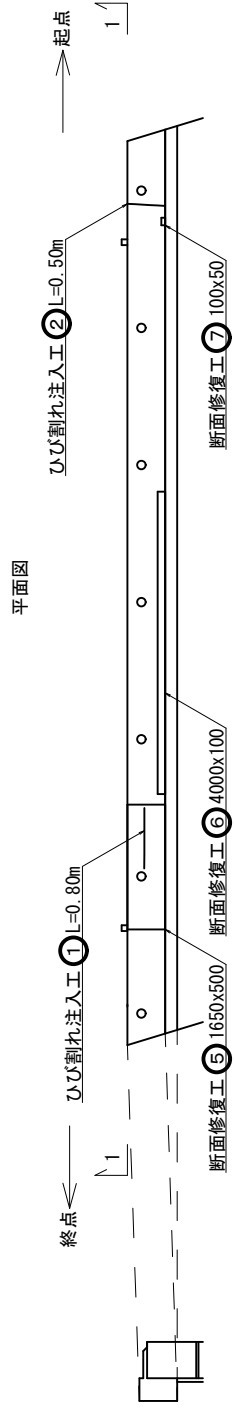
箕輪町役場
管理技術者 工藤博正
設計者 伊藤一男

設計会社 (株)フイット 調査技術者 伊藤一男
測量会社 測量会社

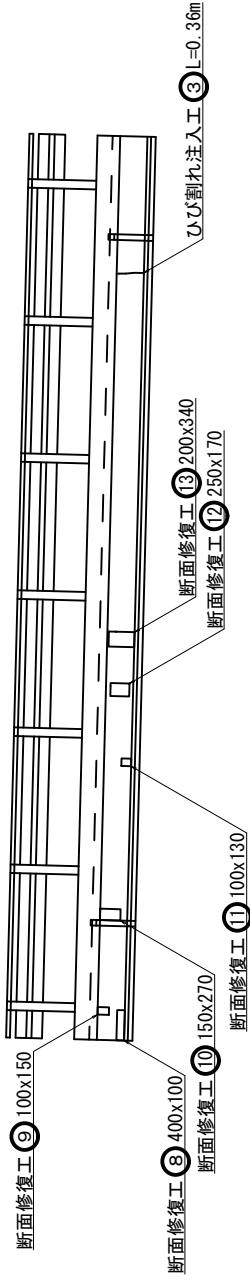
山の田橋 主桁・地覆補修図 S=1:50

地覆

上流側

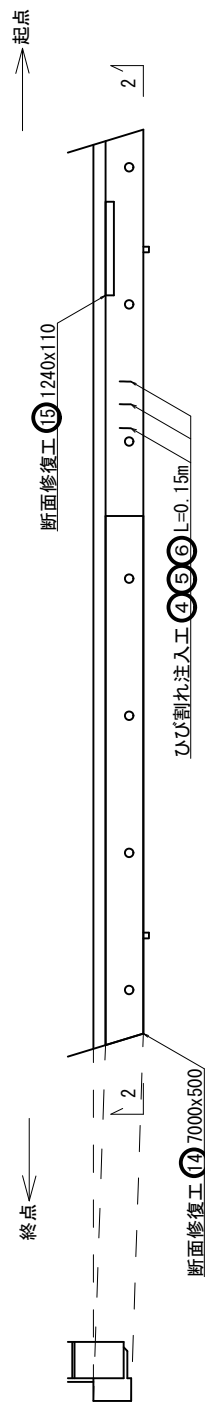


外側 (1-1)

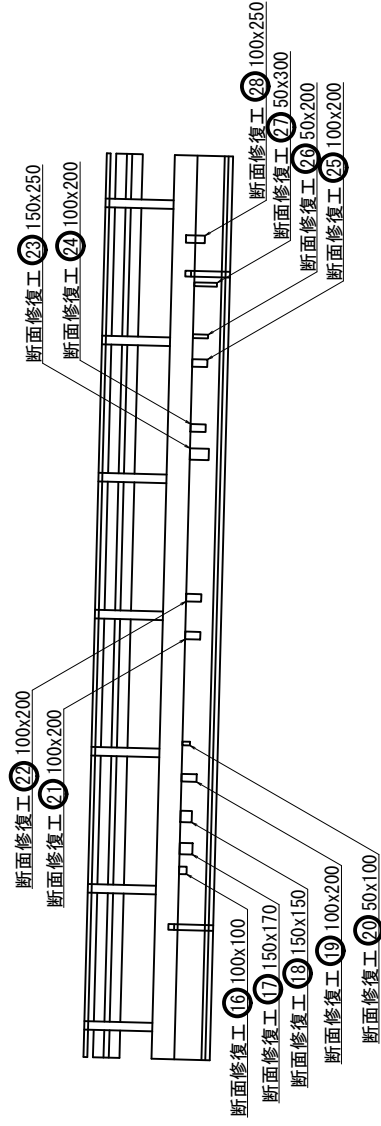


下流側

平面図



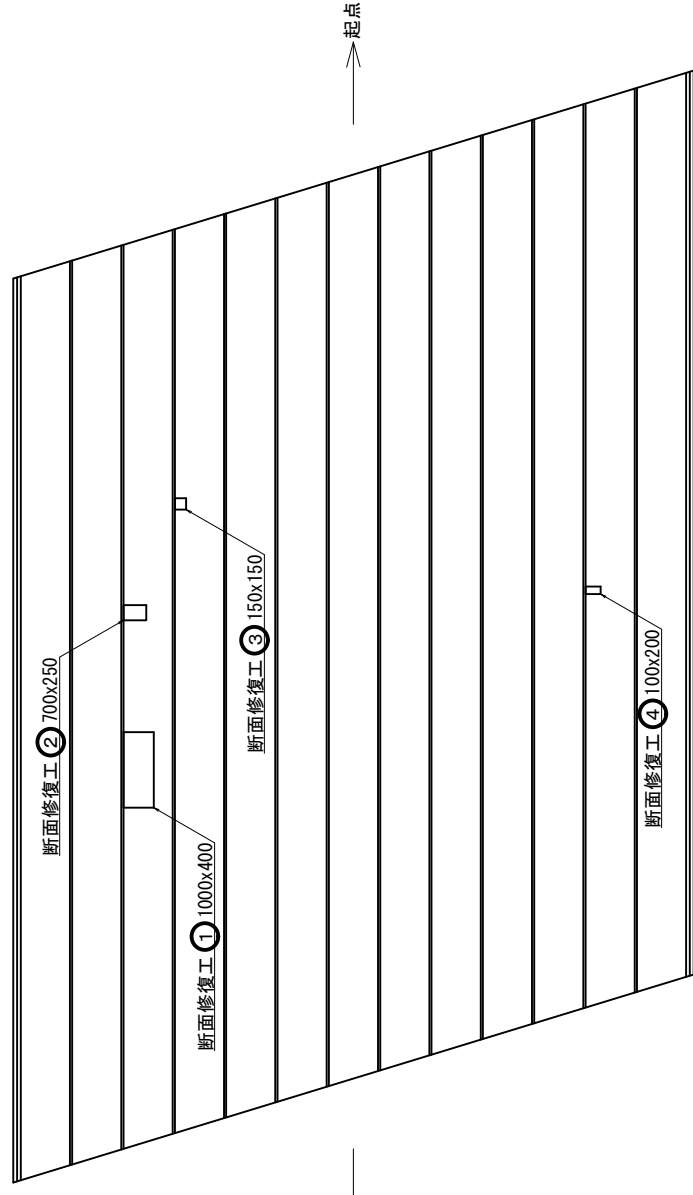
外側 (2-2)



主桁

平面図 (橋下面)

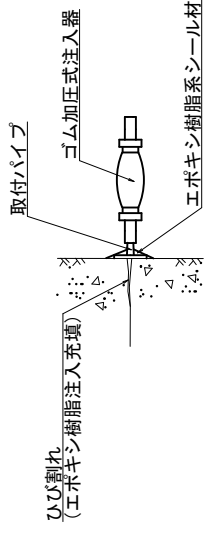
(上流)



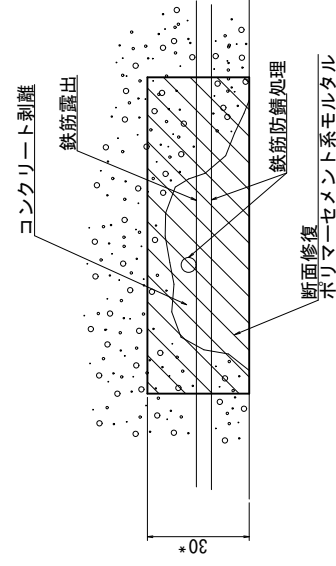
終点

(下流)

ひび割れ注入工



断面修復工 (左官工法)



*断面修復の深さは、3cmとするが、現地状況により変更する。

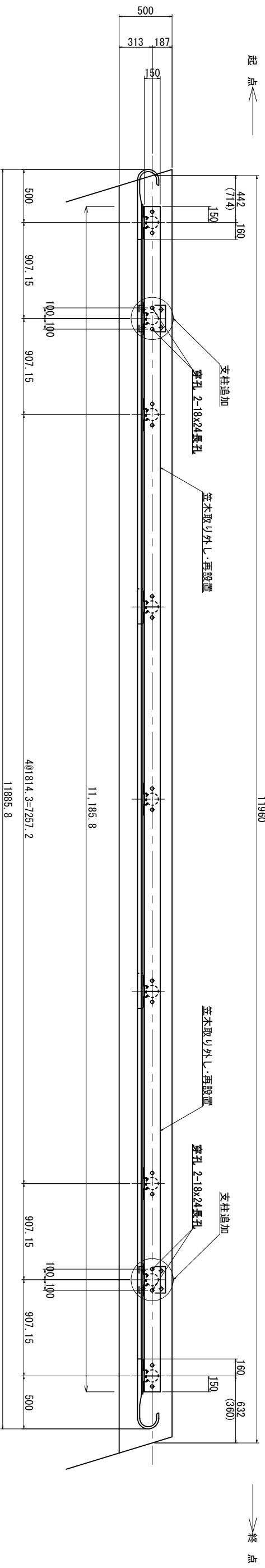
令和5年度 社会資本整備総合交付事業 橋梁補修	山ノ田橋	図示
番号 6/15	主桁・地覆補修	図
実施年度	山ノ田橋	設計
実施箇所	山ノ田橋	設計
設計会社	(株)ワイド	管理技術者 工藤博正
測量会社		調査技術者 飯田一男
調査会社		
調査会社		

山の田橋 防護柵補修図(その1)

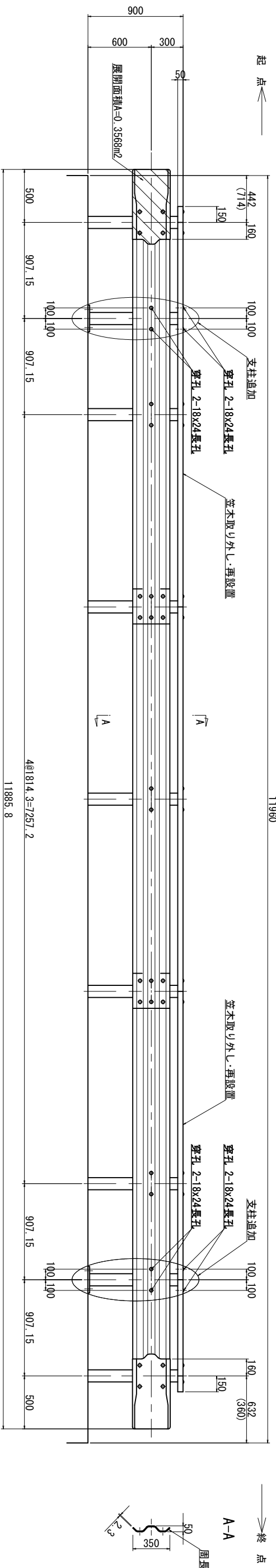
塗替塗装詳細図

下流側

平面図 S=1:20



正面図 S=1:20



11960

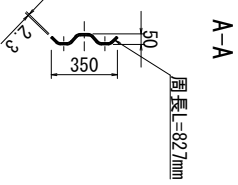
S=1:20

終点

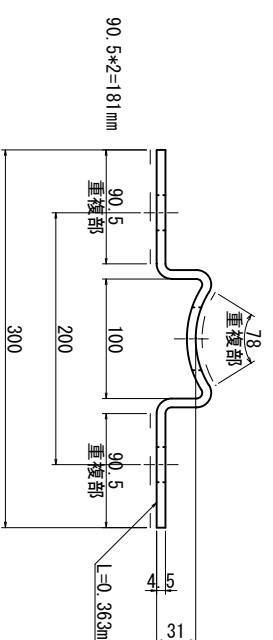
11960

S=1:20

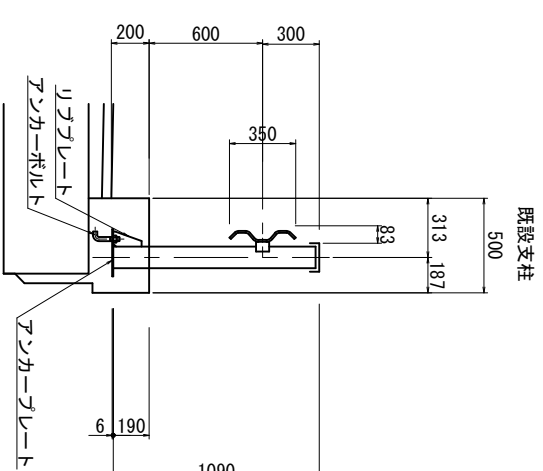
終点



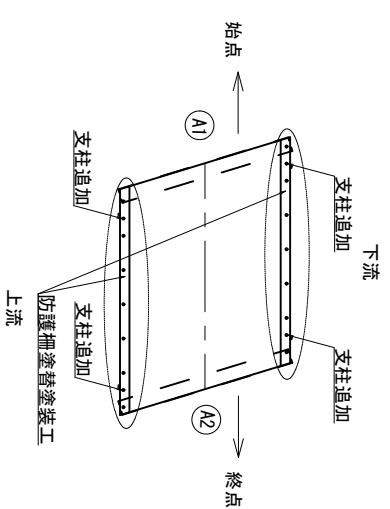
ブラケット S=1:3



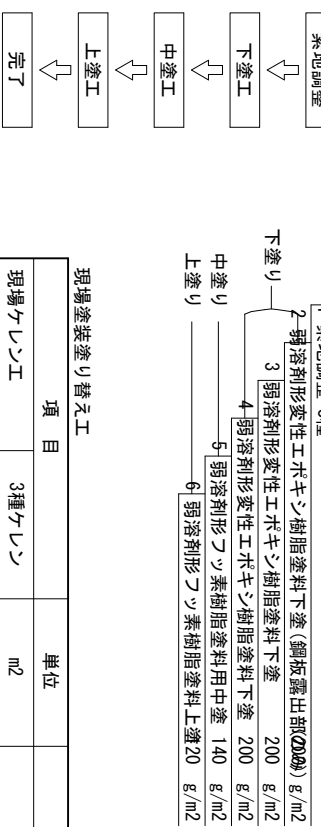
断面図 S=1:20



位置図 S=1:200



施工手順



- (RC-III塗装系)
- 1 現地調整 3種
 - 2 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り(鋼板露出部(200)) 8/m²
 - 3 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り 200 8/m²
 - 4 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り 200 8/m²
 - 5 弱溶剤形トップ素樹脂塗料用中塗り 140 8/m²
 - 6 弱溶剤形トップ素樹脂塗料上塗り 20 8/m²

現場塗装塗り替え工

項目	単位	数量
現場ケレン工	3種ケレン	m ²
現場塗装塗り替え工	RC-III	m ²
		36.2

1式当り

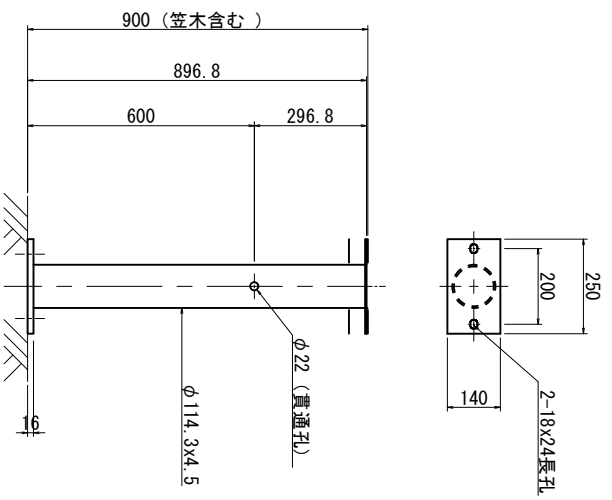
注1:形状設定は、既往資料と現地調査結果を元にモデル化したものである。
 注2:施工関連諸寸法は、現地実測により決定すること。
 注3:現地にて各部寸法を再度確認の上、施工すること。
 注4:()内寸法は上流側を示す

令和5年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修	橋梁補修
番号 7/15	防護柵補修図(1) 図示
実施 箇所	山形県 山形市 山の田橋
実施 役場	山形県 山形市 山の田橋 役場
設計 会社	(株)ノバ 国土技術者
測量 会社	測量会社
調査 会社	調査会社

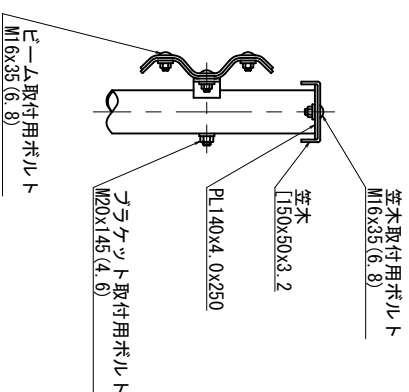
山の田橋 防護柵補修図(その2)

支柱取付工詳細図

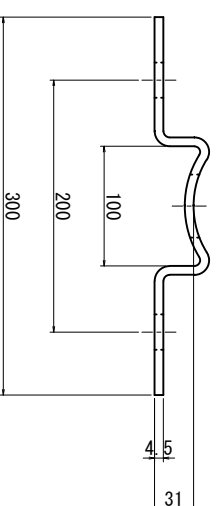
支柱加工図 S=1:10



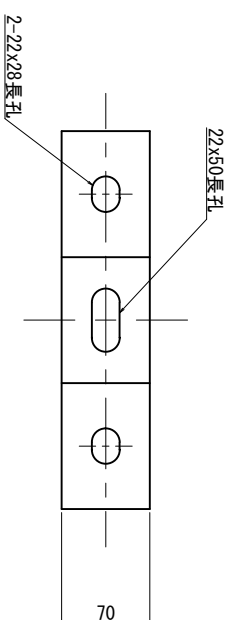
取付詳細図 S=1:10



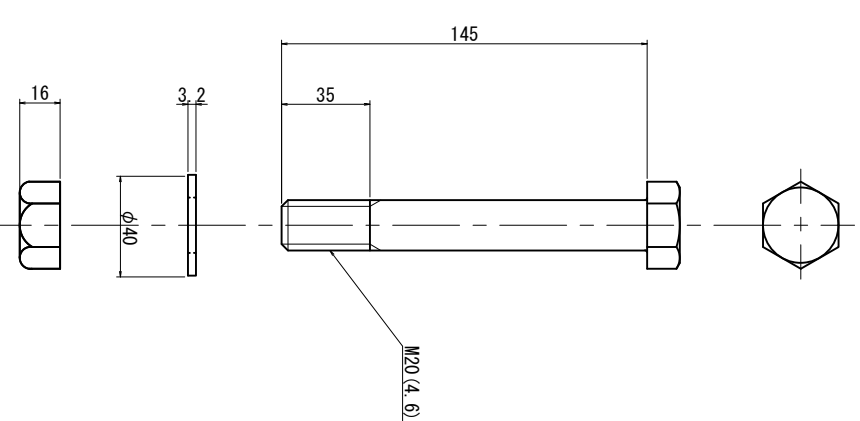
ブラケット S=1:3



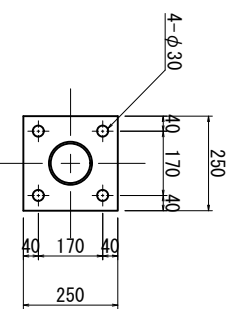
ブラケット取付用ボルト S=1:1.5



笠木・ビーム取付用ボルト S=1:1.5

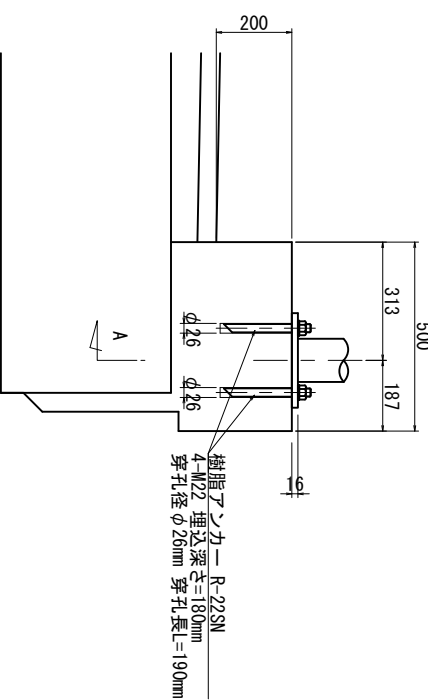
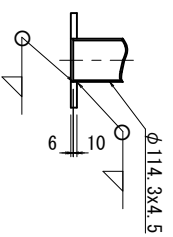


平面図



ベースプレート S=1/10

断面図 (A-A)



部品数量表

項目	単位	数量
支柱	本	4
樹脂アンカー R-22S	本	16
アンカーボルト・ナット	本	16
ブラケット	個	4
ボルト・ナット	本	4
	本	8
	本	8

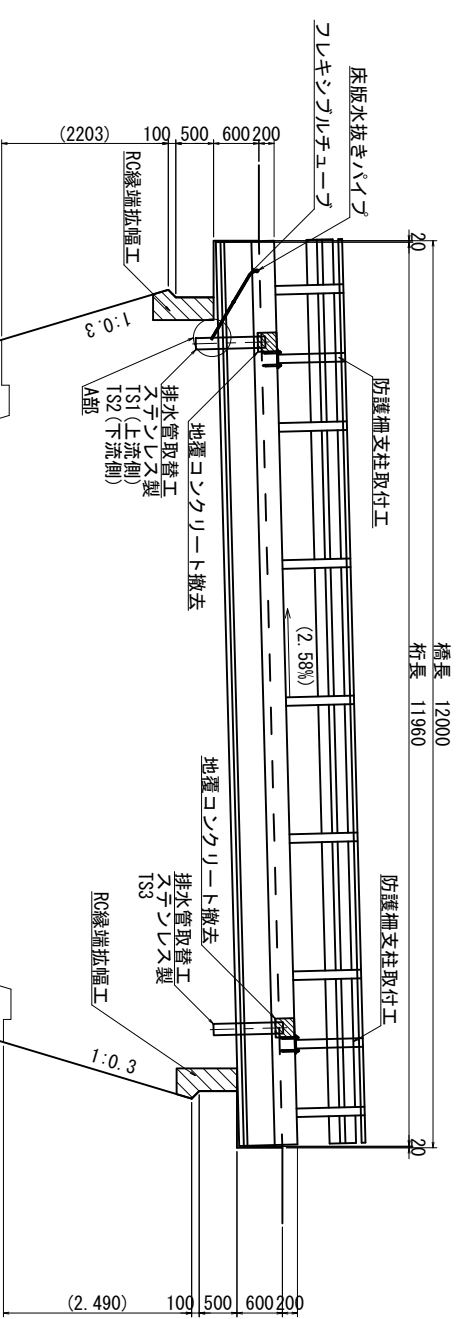
注1: 形状設定は、既往資料と現地調査結果を元にモデル化したものである。
 注2: 施工関連諸寸法は、現地実測により決定すること。
 注3: 現地にて各部寸法および必要に応じて既設鉄筋位置を再度確認の上、施工すること。

令和5年度 社会資本整備総合交付事業 橋梁補修工事	第 図
9/15	防護柵補修図(2)
製	図
監	設
査	計
検	
査	
者	
監	
理	
技	
術	
者	
照	
査	
技	
術	
者	
工	
務	
補	
正	
牧	
田	
一	
男	
設	
計	
画	
製	
者	
監	
理	
技	
術	
者	
照	
査	
技	
術	
者	
工	
務	
補	
正	
牧	
田	
一	
男	

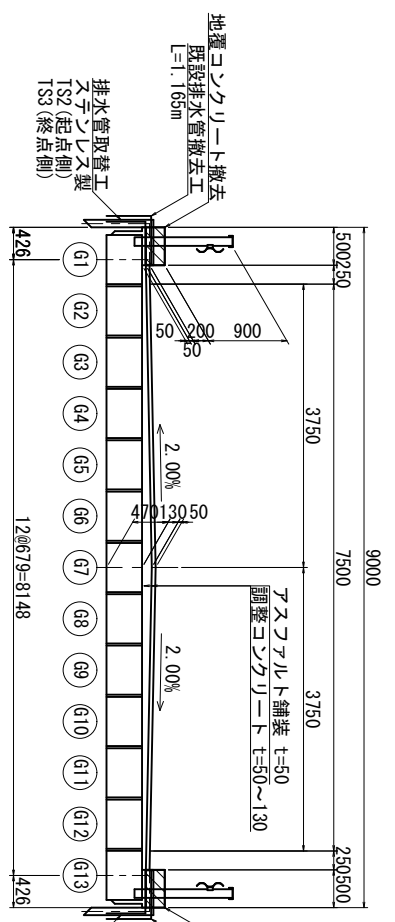
山の田橋 排水装置補修図

高気密ステンレス排水装置

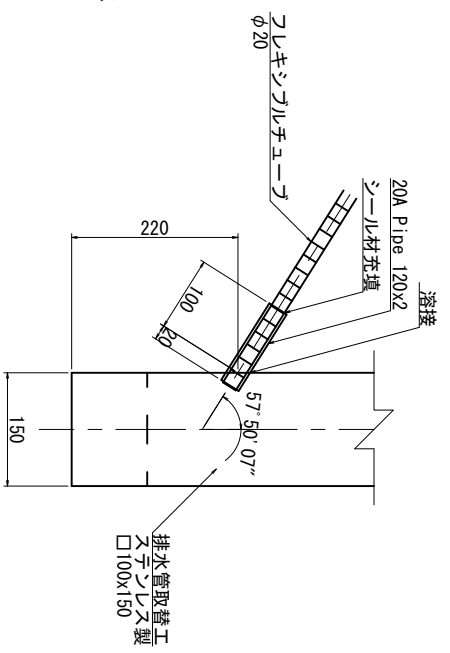
側面図 S=1:50



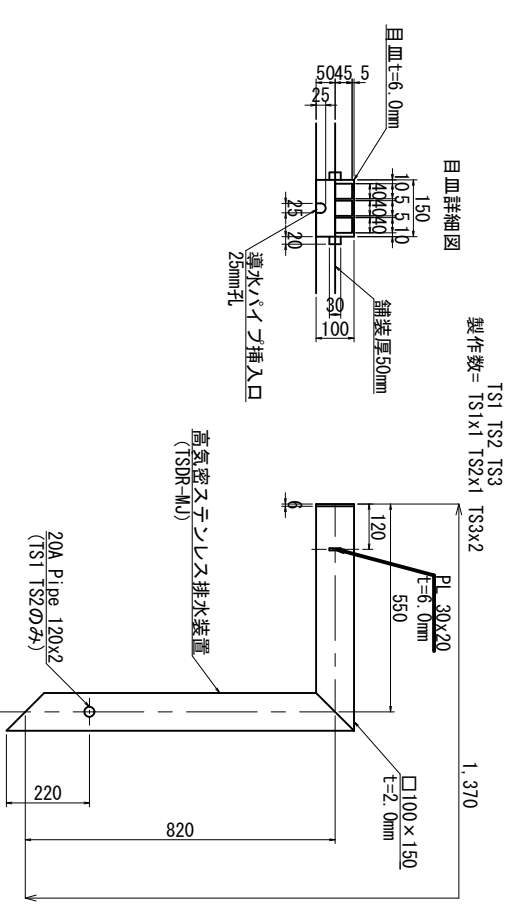
上部工断面図 S=1:50



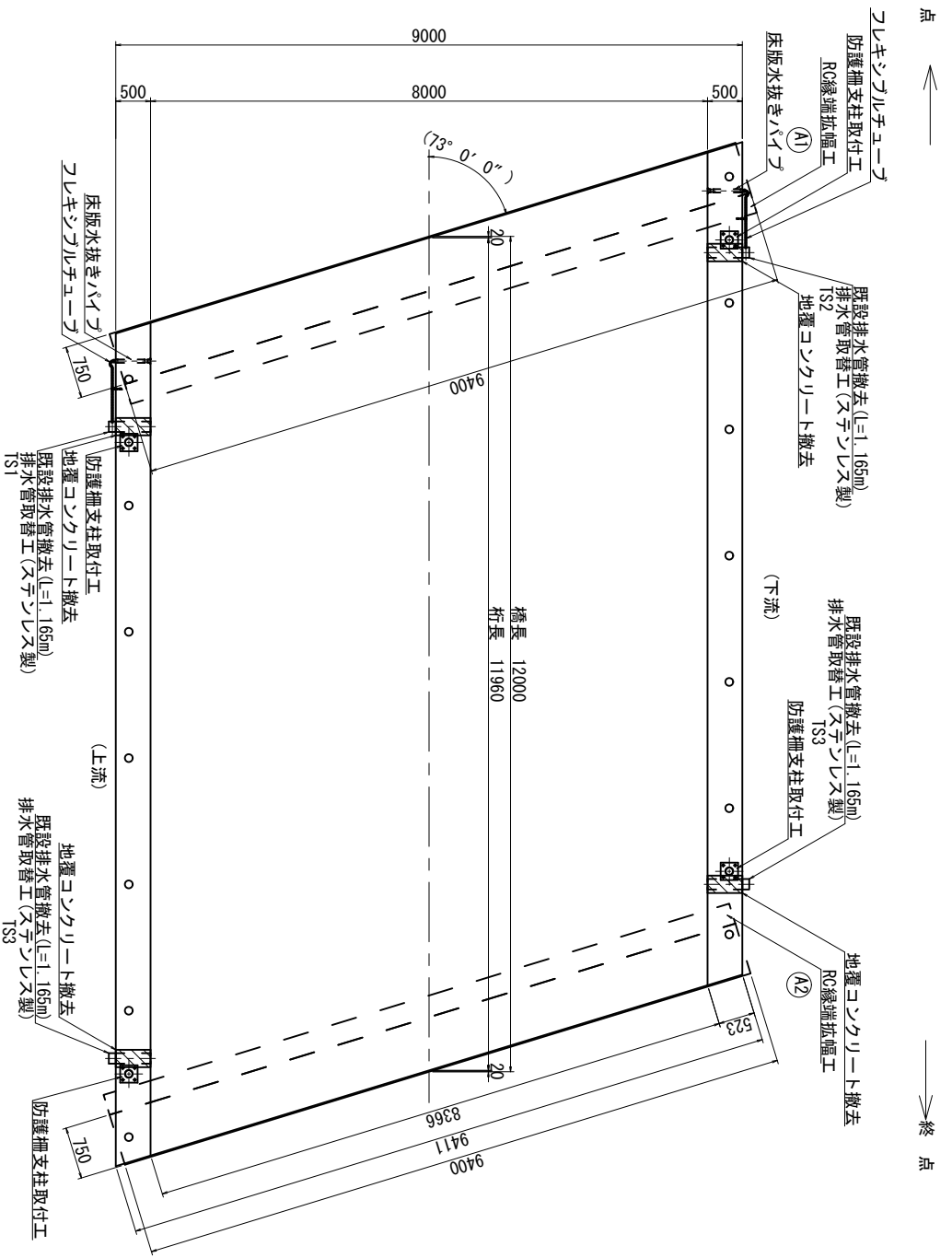
フレキシブルチューブ接続部詳細図 S=1:5



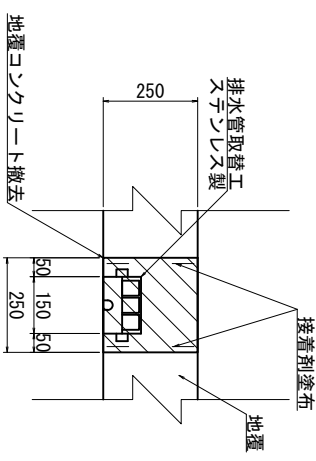
地覆貫通管詳細図 S=1:10



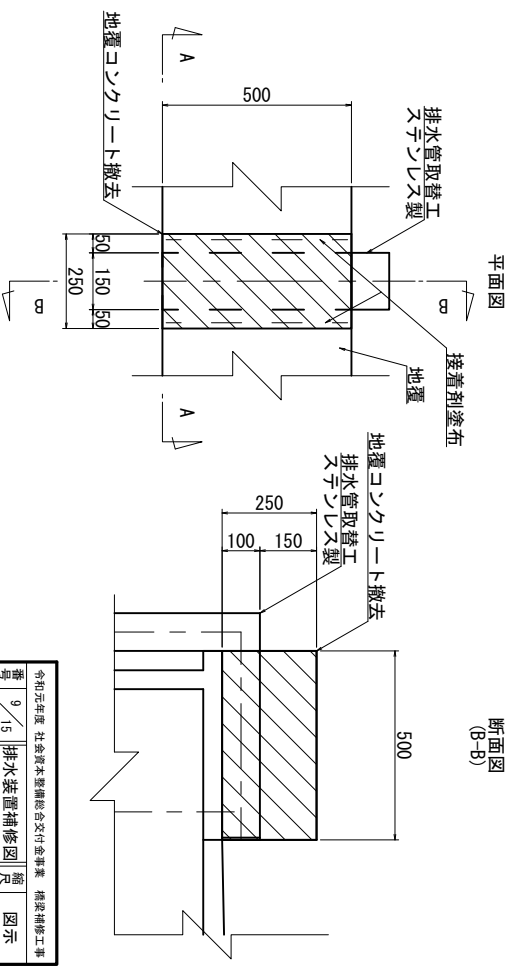
平面図 S=1:50



側面図 (A-A)



地覆コンクリート撤去詳細図 S=1:10



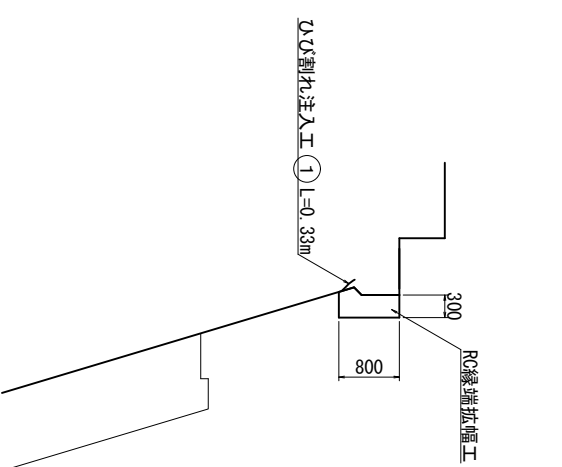
注) 1. 特記なき材質はすべてSUS304とする。
2. 排水管は、NETIS No. OB-980013-VIに準ずる。
3. t=2.0mm未満のSUS304材の加工品については、溶接部内外面は耐食性の低下を防止する措置を講じる。

令和元年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修工事	図示
番号 9/15	排水装置補修図
実施	設計
監理	監理
設計会社	筑輪町役場
監理会社	管理技術者 工藤博正
	調査技術者 牧田一男
	調査会社 筑輪町役場
	監理会社

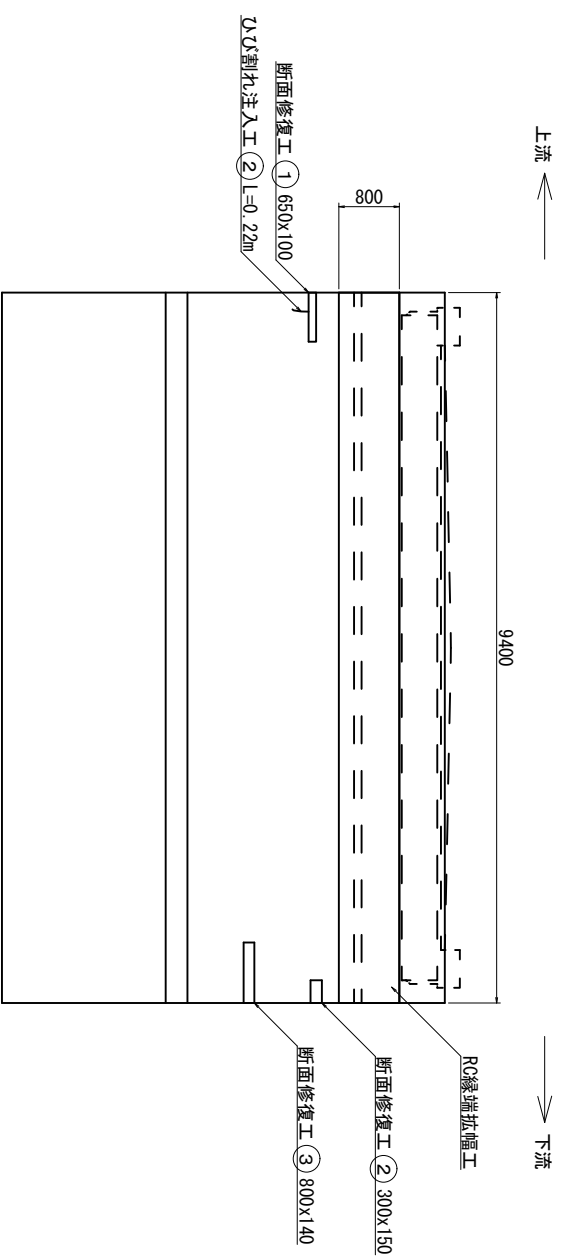
山の田橋 下部工補修図

A1橋台 S=1:50

側面図 (上流側)



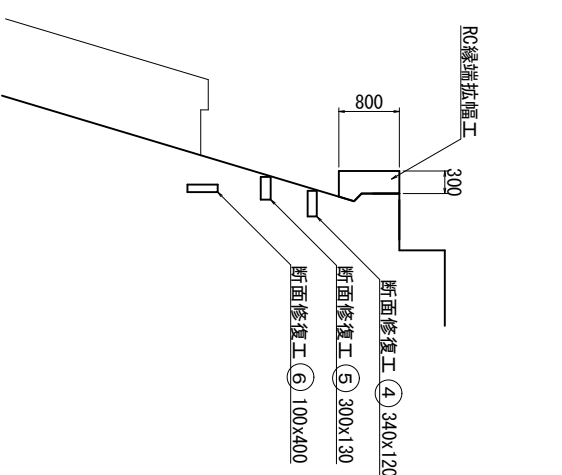
正面図



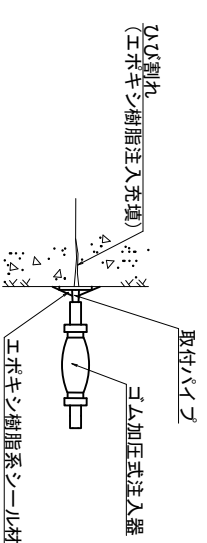
上流

下流

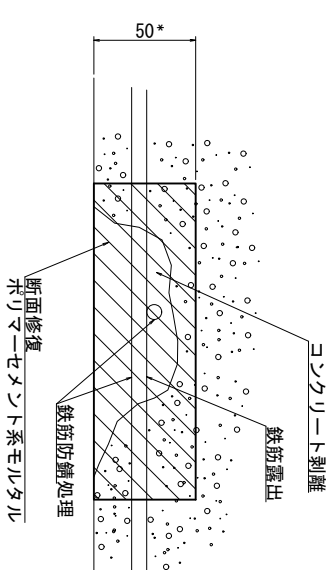
側面図 (下流側)



ひび割れ注入工

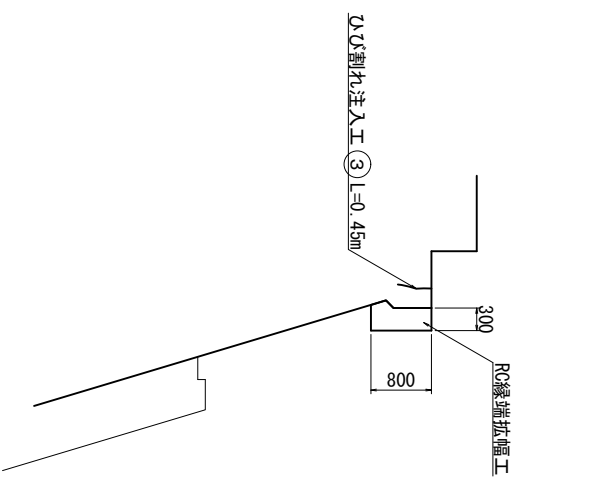


断面修復工 (左官工法)

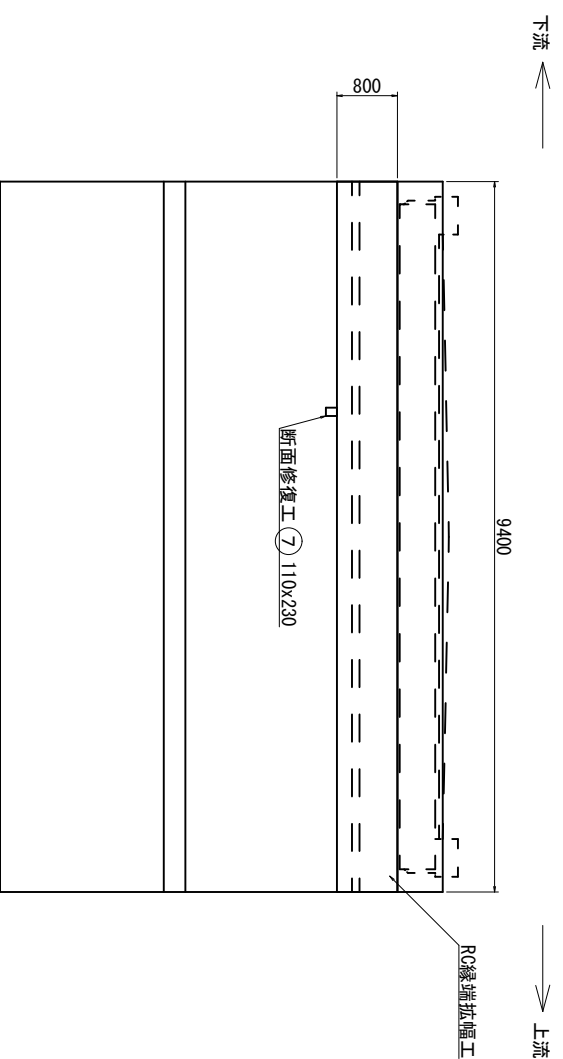


*断面修復の深さは、50mmとするが、現地状況により変更する。

側面図 (下流側)



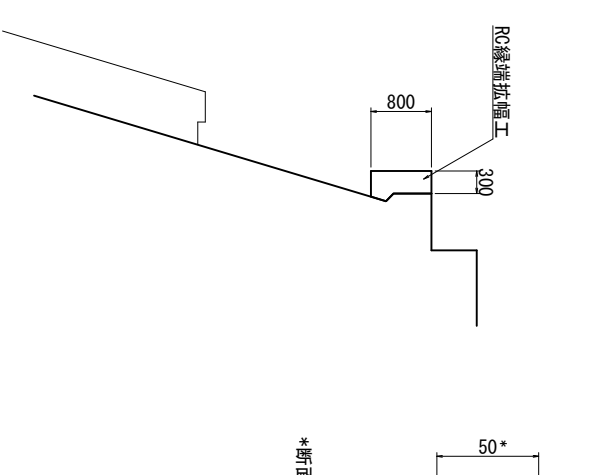
正面図



下流

上流

側面図 (上流側)



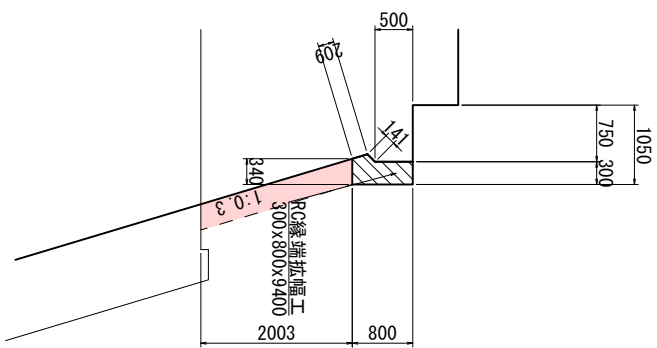
令和元年度 社会資本整備総合交付事業 橋梁補修工事	第 10 / 15 号	下部工補修図	図 示
---------------------------	-------------	--------	-----

実施者	筑輪町 山の田橋	設計	
監理	筑輪町役場	監理	
設計会社	(株)フット	管理技術者	工藤博正
測量会社		調査技術者	牧田一男
調査会社			

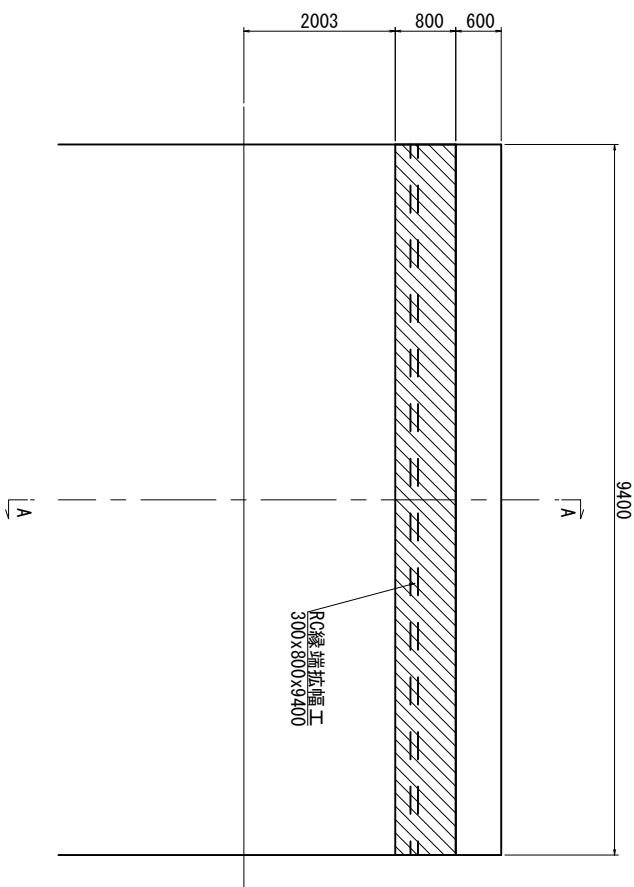
山の田橋 橋座縁端拡幅計画図

(A1橋台橋座縁端拡幅)

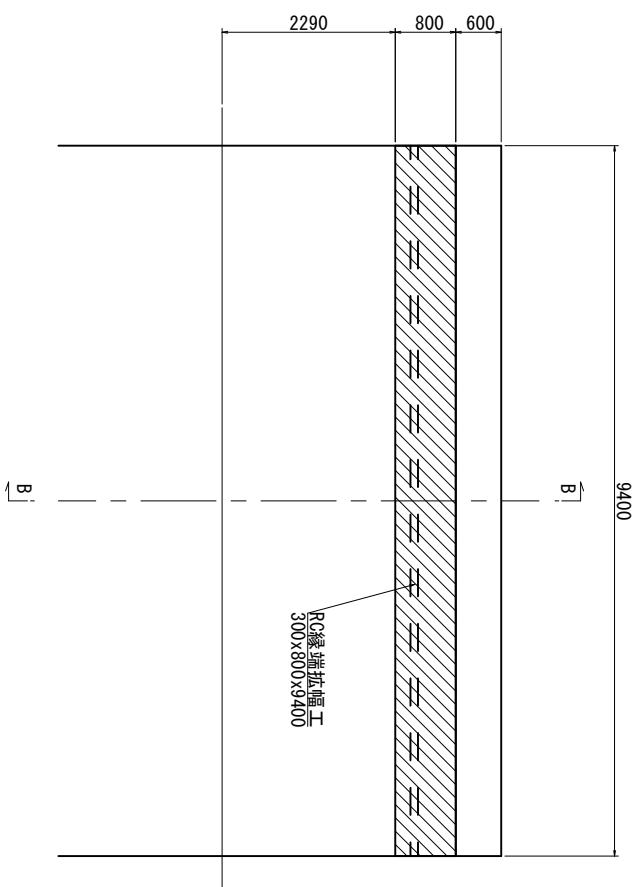
断面図 S=1:50
(A-A)



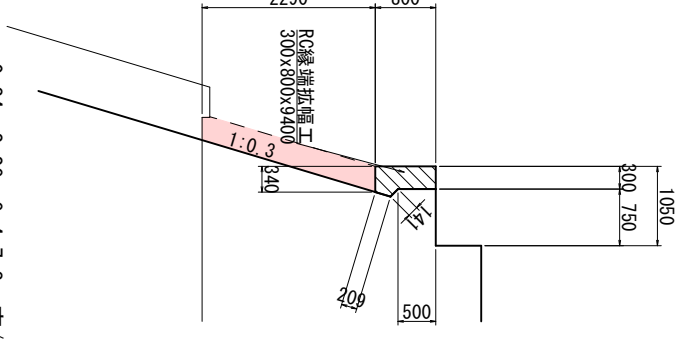
正面図 S=1:50



正面図 S=1:50



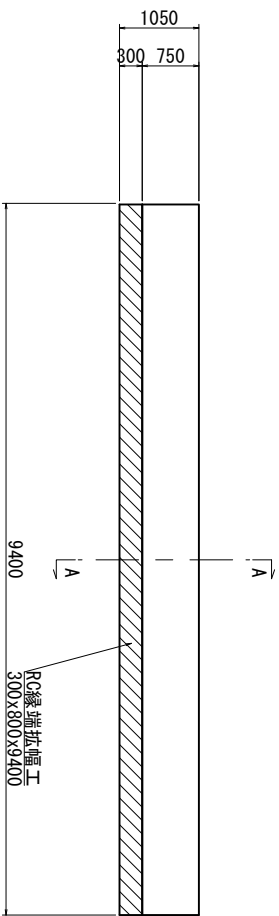
断面図 S=1:50
(B-B)



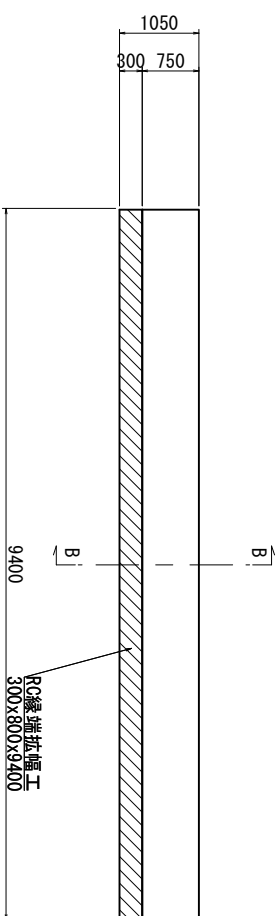
0.34×2.003×9.4=6.4 空/m³

支保工計6.4±7.3=13.7空/m³

平面図 S=1:50



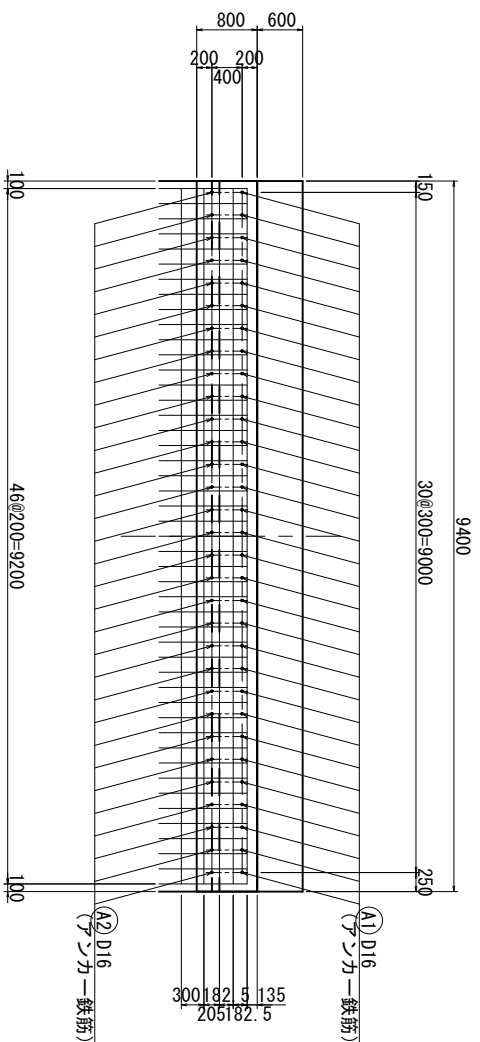
平面図 S=1:50



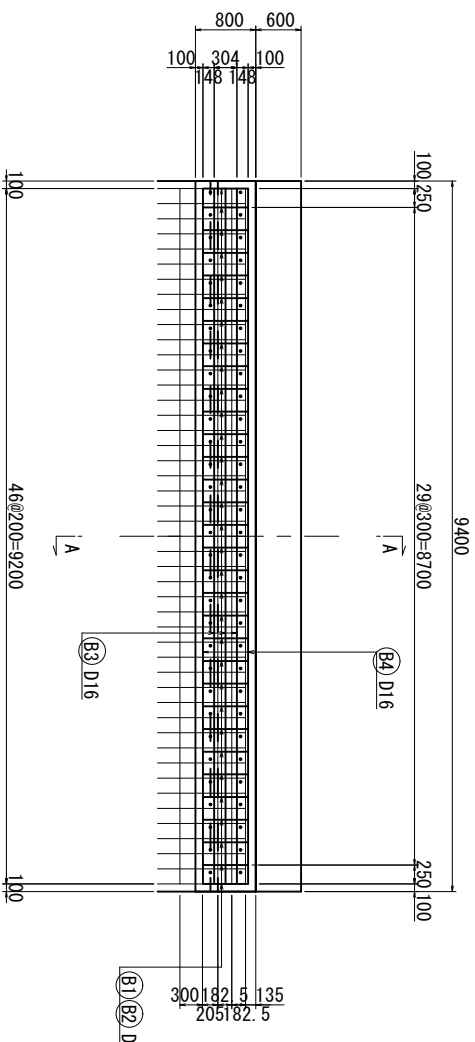
令和元年年度 土木技術者協会 橋梁補修工事		橋梁補修工事																	
番号	11/15	橋座縁端拡幅計画図	図示																
<table border="1"> <tr> <td>設計者</td> <td>監理者</td> <td>設計</td> <td>監理</td> </tr> <tr> <td>設計会社</td> <td>(株)ノイド</td> <td>監理技術者</td> <td>工藤正</td> </tr> <tr> <td>測量会社</td> <td></td> <td></td> <td>牧田一男</td> </tr> <tr> <td>調査会社</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				設計者	監理者	設計	監理	設計会社	(株)ノイド	監理技術者	工藤正	測量会社			牧田一男	調査会社			
設計者	監理者	設計	監理																
設計会社	(株)ノイド	監理技術者	工藤正																
測量会社			牧田一男																
調査会社																			
<table border="1"> <tr> <td>建設</td> <td>築</td> <td>築</td> <td>築</td> </tr> <tr> <td>築</td> <td>築</td> <td>築</td> <td>築</td> </tr> </table>				建設	築	築	築	築	築	築	築								
建設	築	築	築																
築	築	築	築																
<table border="1"> <tr> <td>設計者</td> <td>監理者</td> <td>設計</td> <td>監理</td> </tr> <tr> <td>設計会社</td> <td>(株)ノイド</td> <td>監理技術者</td> <td>工藤正</td> </tr> <tr> <td>測量会社</td> <td></td> <td></td> <td>牧田一男</td> </tr> <tr> <td>調査会社</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				設計者	監理者	設計	監理	設計会社	(株)ノイド	監理技術者	工藤正	測量会社			牧田一男	調査会社			
設計者	監理者	設計	監理																
設計会社	(株)ノイド	監理技術者	工藤正																
測量会社			牧田一男																
調査会社																			

山の田橋 A1橋台橋座縁端拡幅配筋図

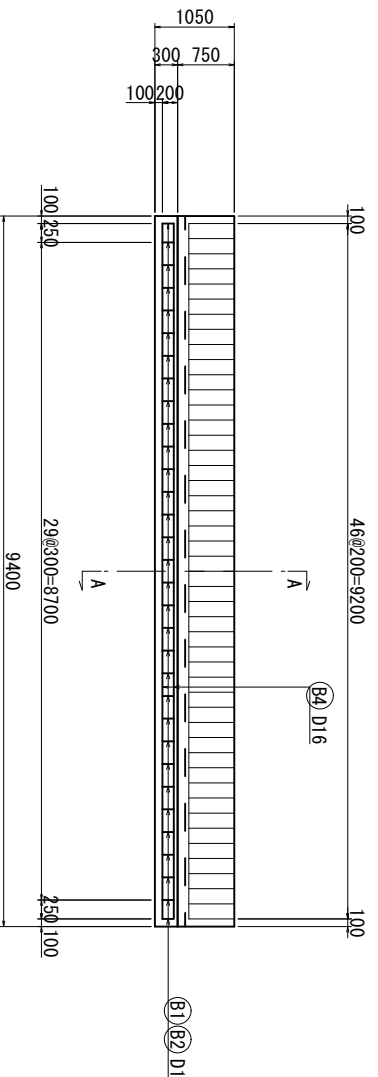
アンカー配置図 S=1:50



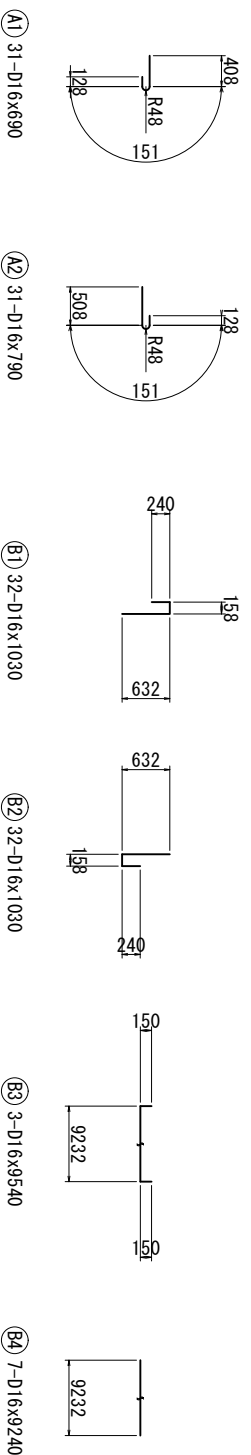
正面図 S=1:50



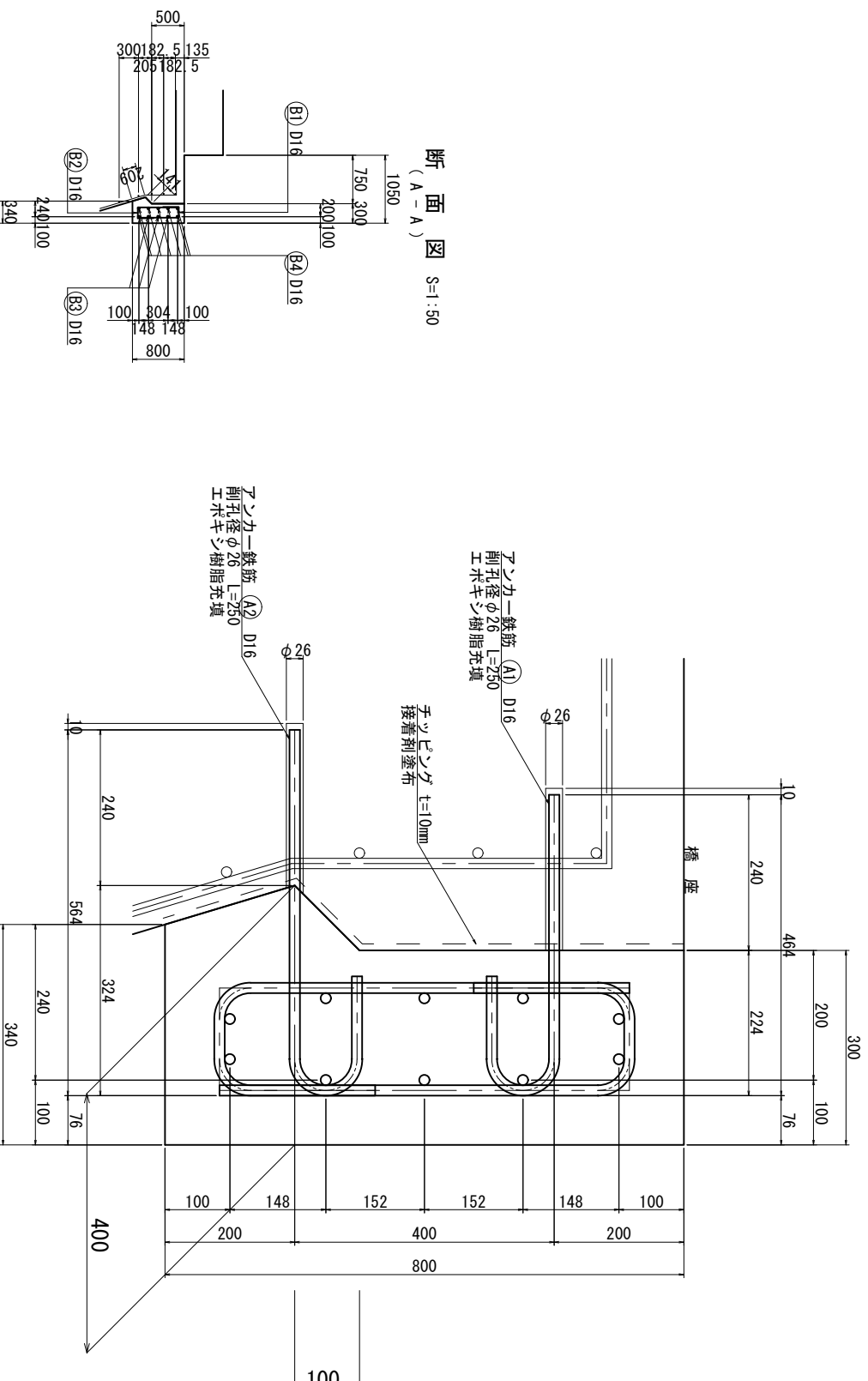
平面図 S=1:50



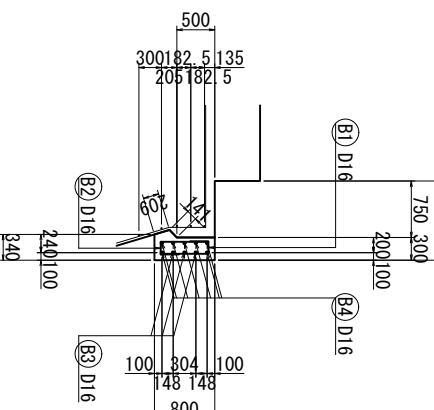
鉄筋加工図 S=1:50



アンカー詳細図 S=1:5



断面図 (A-A) S=1:50



橋座縁端拡幅鉄筋質量

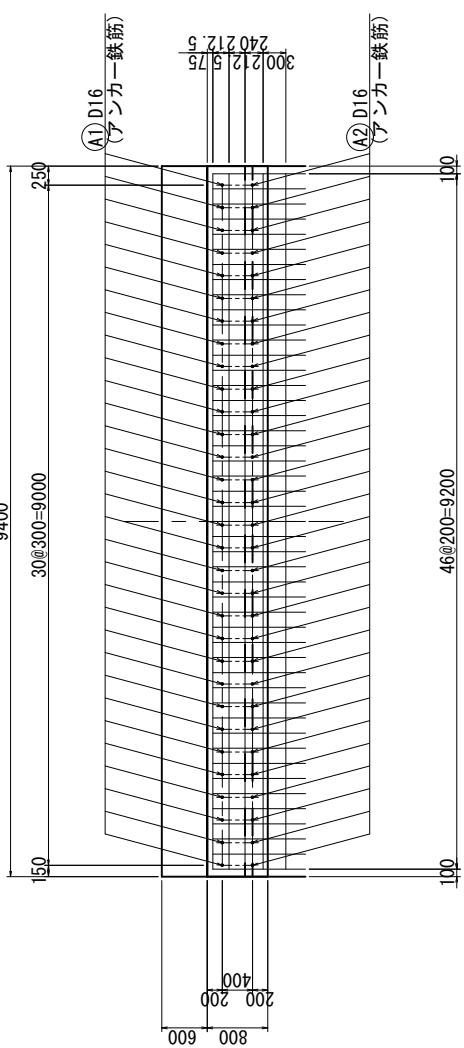
記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本あたり質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
A1	D16	690	31	1.56	1.08	34	—
A2	D16	790	31	1.56	1.23	39	—
B1	D16	1030	32	1.56	1.61	52	—
B2	D16	1030	32	1.56	1.61	52	—
B3	D16	9540	3	1.56	14.88	45	—
B4	D16	9240	7	1.56	14.41	101	—
						73	アンカー鉄筋
						250	D16
						323	合計

- 注1) 縁端拡幅コンクリートの強度は、 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ とする。
 2) 鉄筋の材質は、SD345とする。
 3) 鉄筋の加工は現地再調査のうえ決定すること。
 4) 施工に当たっては鉄筋検査を行い、極力既設鉄筋の切断は避けるようにする。
 5) 鉄筋位置変更等の場合は、必要に応じて応力照査を行うこと。
 6) 縁端拡幅部の既設橋台前面は、子びん布のうえエポキシ樹脂系の接着剤を塗布する。
 7) —は既設鉄筋を示す(推定)。

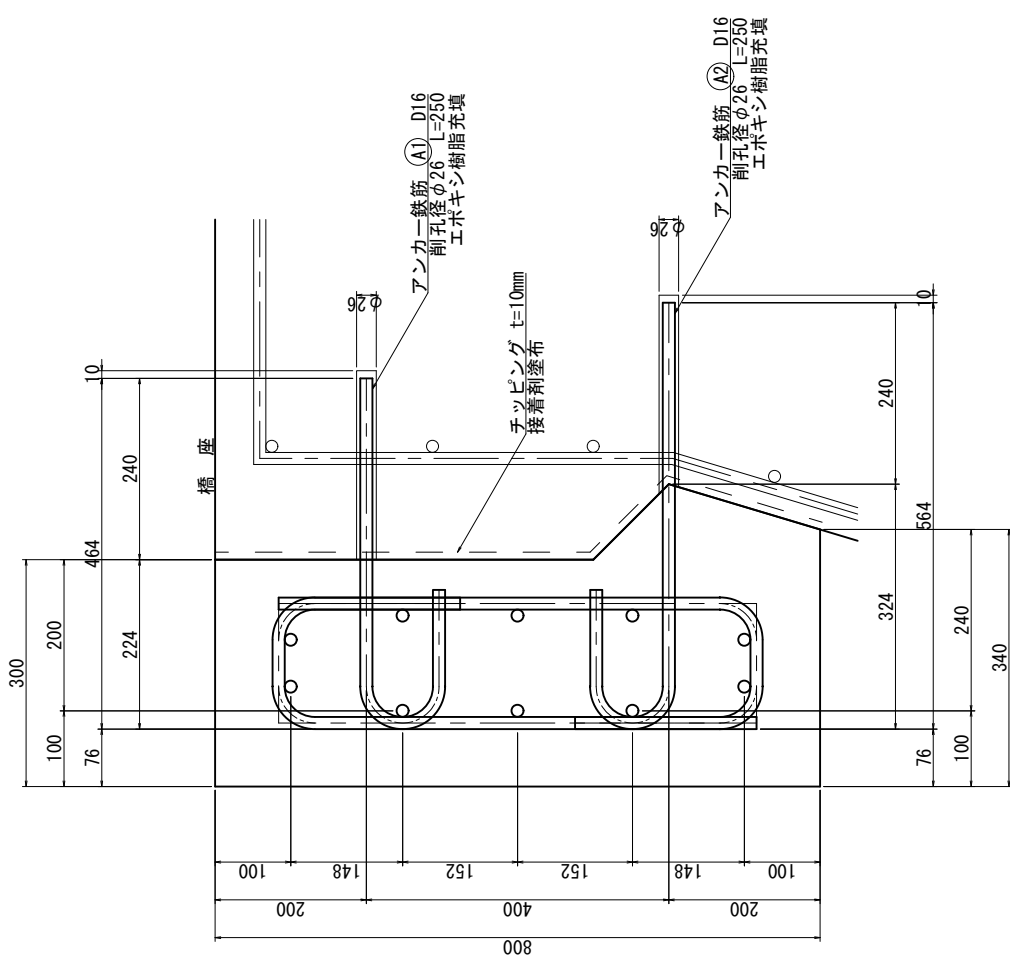
令和元年度	社会資本整備総合交付金事業	橋梁補修工事
第17/15	A1橋台 橋座 縁端拡幅配筋図	図示
実施機関 山の田橋 設計 監理技術者 管理技術者 工藤博正 設計会社 (株)ノバド 監理技術者 牧田一男 測量会社 調査会社		

山の田橋 A2橋台橋座縁端拡幅配筋図

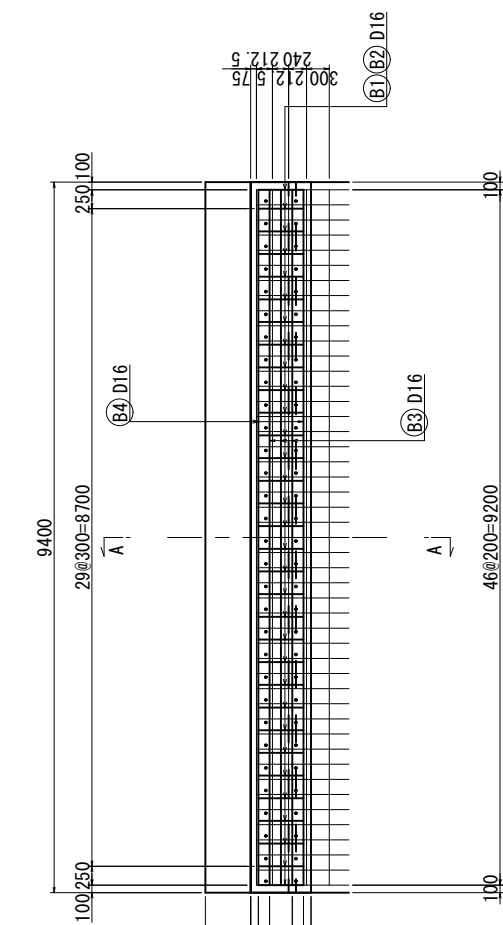
アンカー配置図 S=1:50



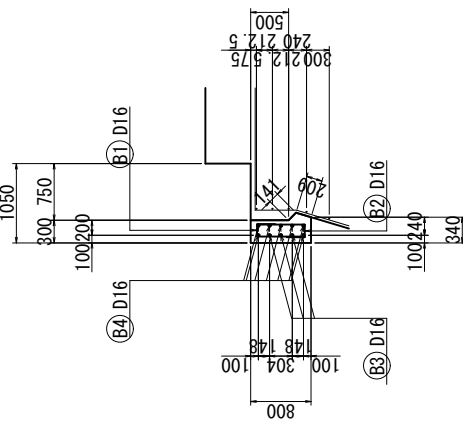
アンカー詳細図 S=1:5



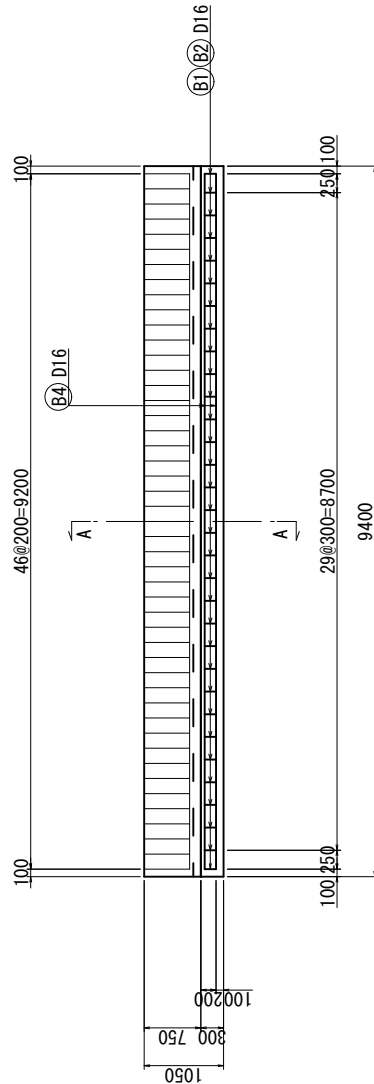
正面図 S=1:50



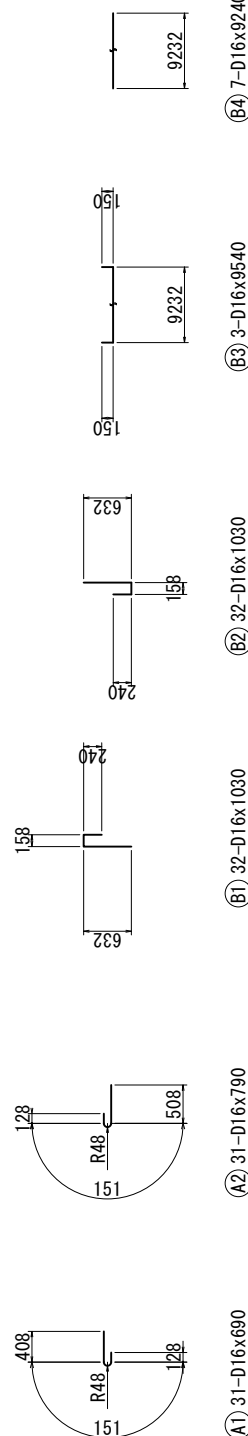
断面図 (A-A) S=1:50



平面図 S=1:50



鉄筋加工図 S=1:50



橋座縁端拡幅鉄筋質量

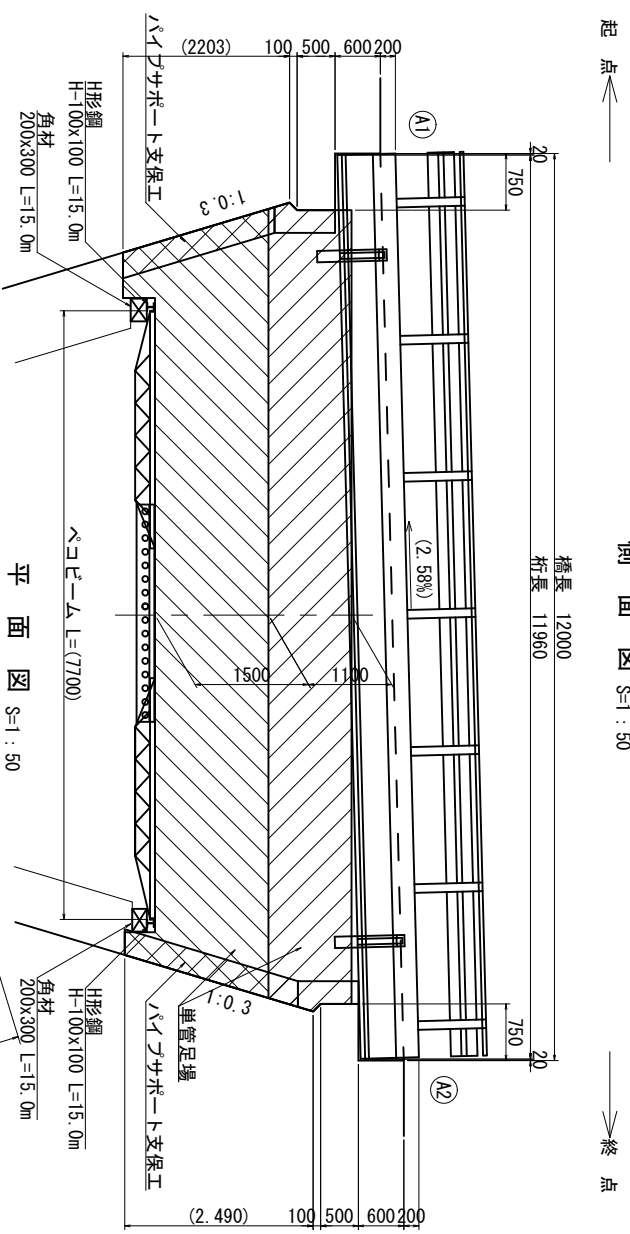
Table with 7 columns: 記号, 長さ (mm), 本数, 単位質量 (kg/m), 1本当たり質量 (kg), 質量 (kg), 摘要. Rows include A1, A2, B1, B2, B3, B4, and a total row.

注1) 縁端拡幅コンクリートの強度は、 $\sigma_{ck}=24N/mm^2$ とする。
注2) 鉄筋の材質は、SD345とする。
注3) 鉄筋の加工は現地再調査のうえ決定すること。
注4) 施工に当たっては鉄筋探査を行い、極力既設鉄筋の切断は避けるようにする。
注5) 鉄筋位置変更等の場合は、必要に応じて応力照査を行うこと。
注6) 縁端拡幅部の既設橋台前面は、チッピングのうえエポキシ樹脂系の接着剤を塗布する。
注7) ——は既設鉄筋を示す(推定)。

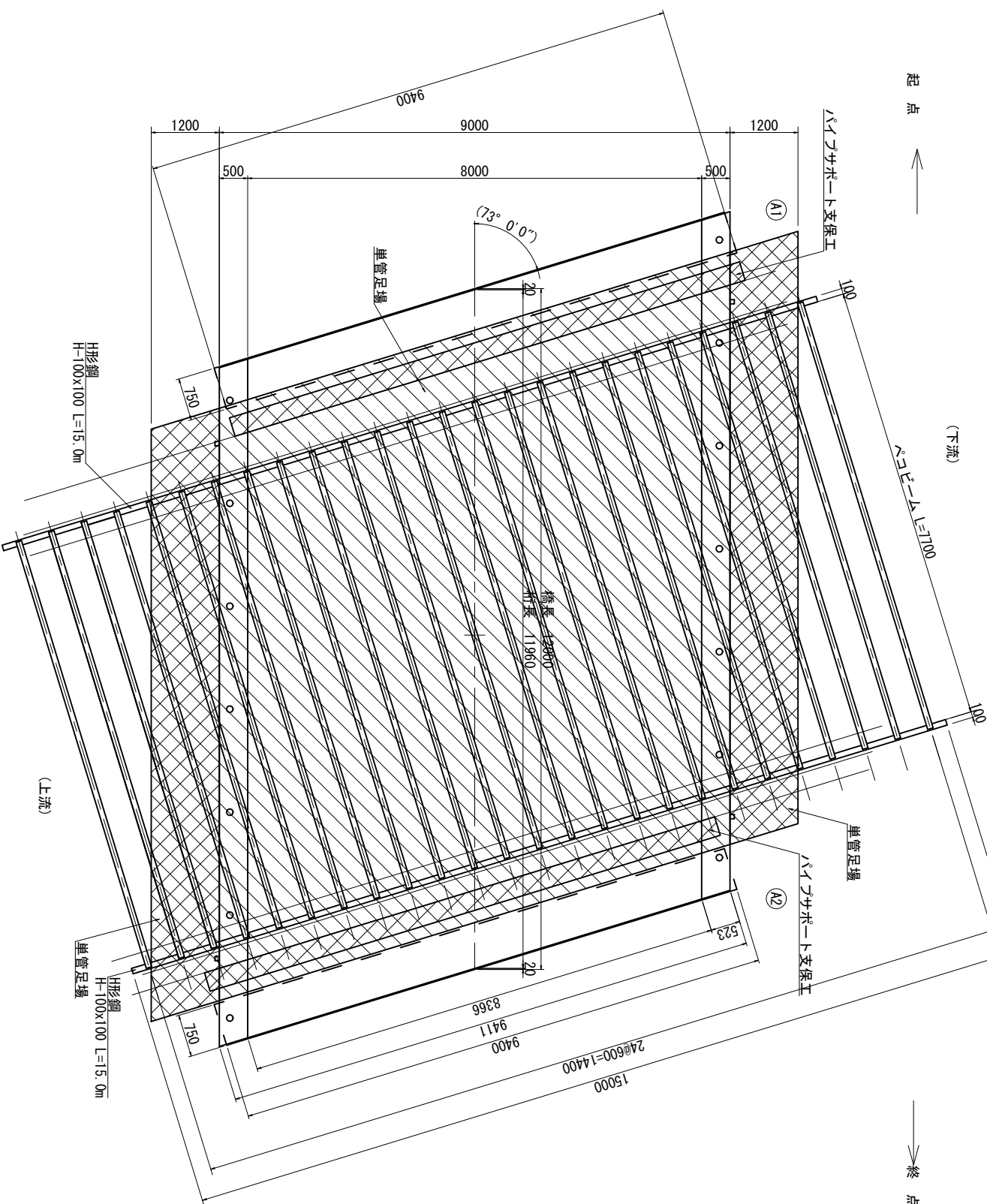
Project information table including: 令和五年度 社会資本整備総合交付金事業, 山形県 建設部, 山形県 建設部, 山形県 建設部, 山形県 建設部, 山形県 建設部, 山形県 建設部, 山形県 建設部, 山形県 建設部, 山形県 建設部.

山の田橋 施工要領図(その1)

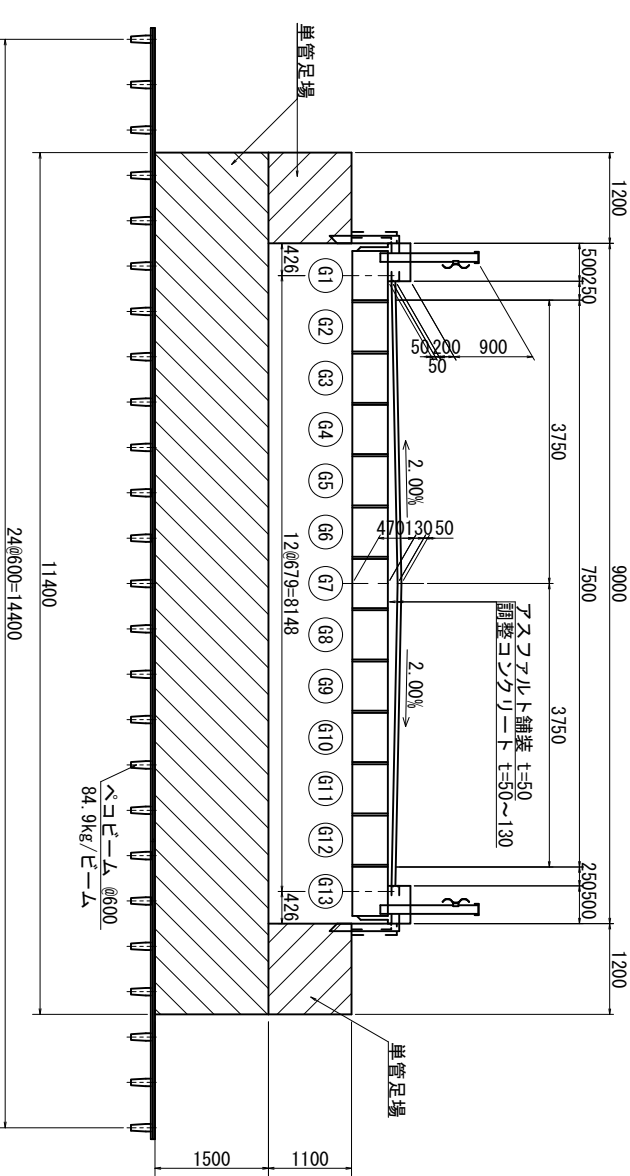
側面図 S=1:50



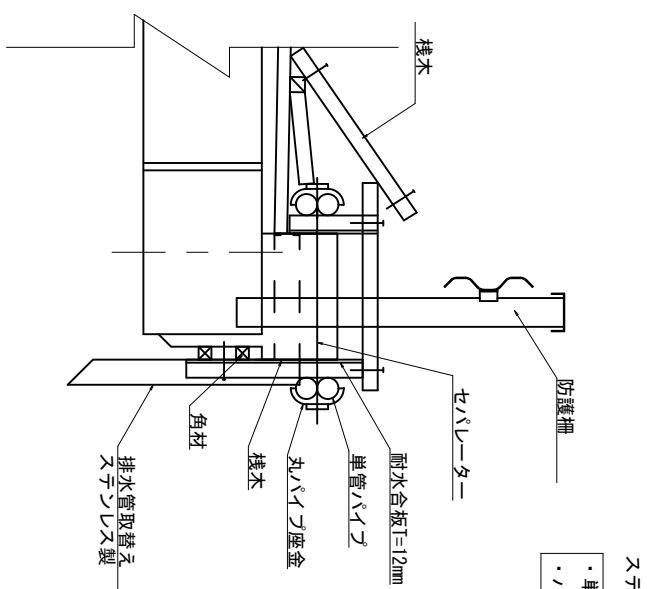
平面図 S=1:50



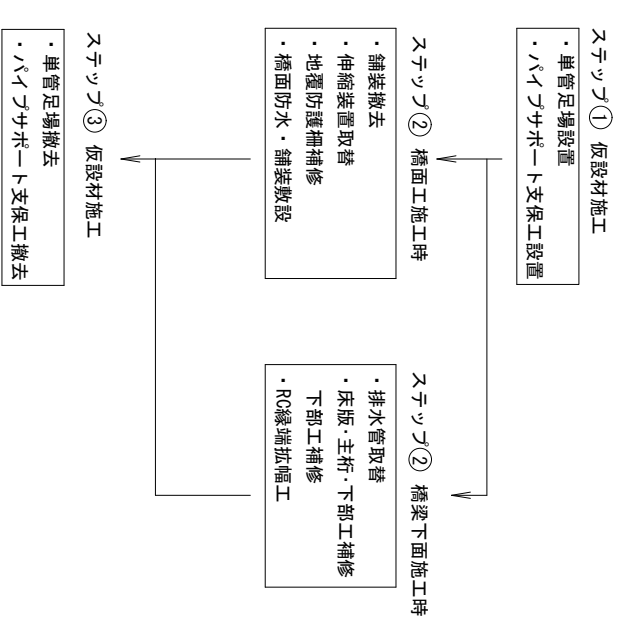
上部工断面図 S=1:50



地覆施工詳細図 S=1:15



施工フロー

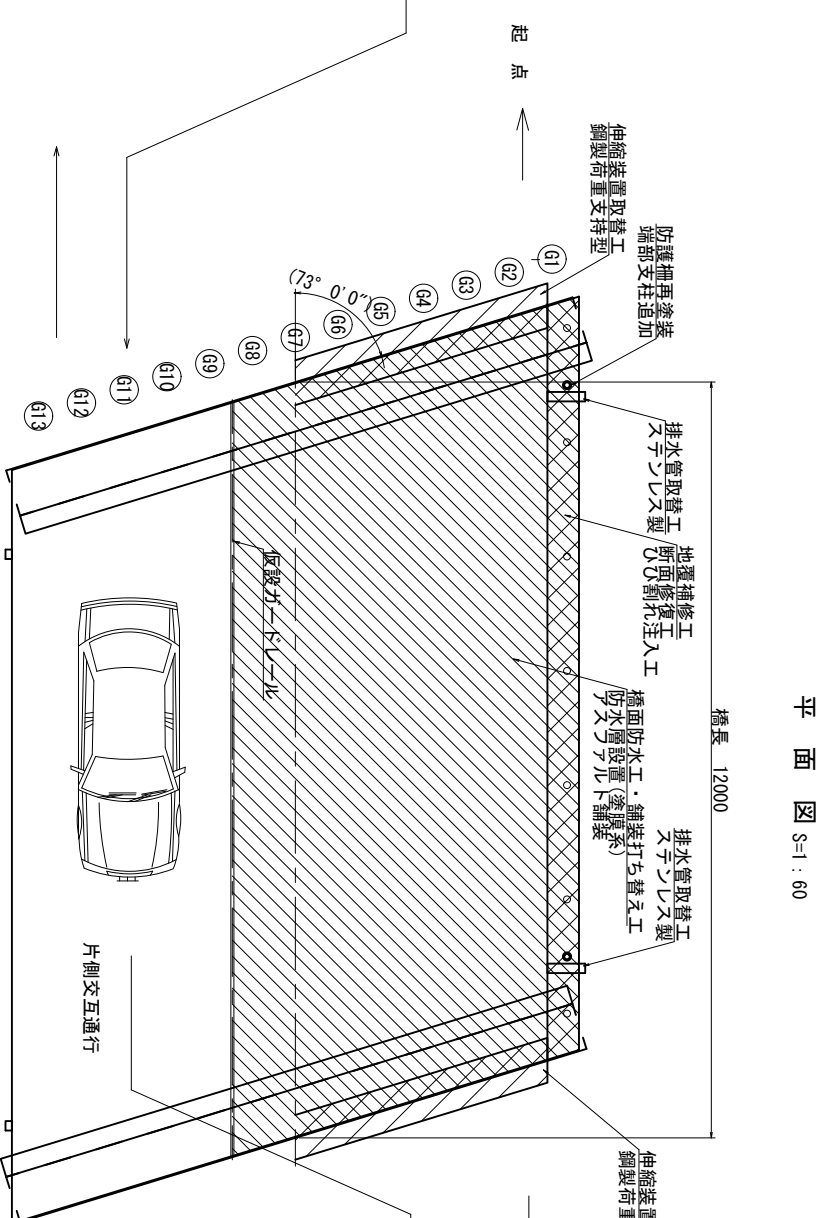


参考図

令和元年年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修工事	図示
番号 14/15	施工要領図(1)
実施年度	令和元年
実施場所	筑前町 山の田橋
設計会社	筑前町役場
設計者	管理技術者 工藤博正
監理会社	(株)ノイド 調査技術者 牧田一男
調査会社	調査会社

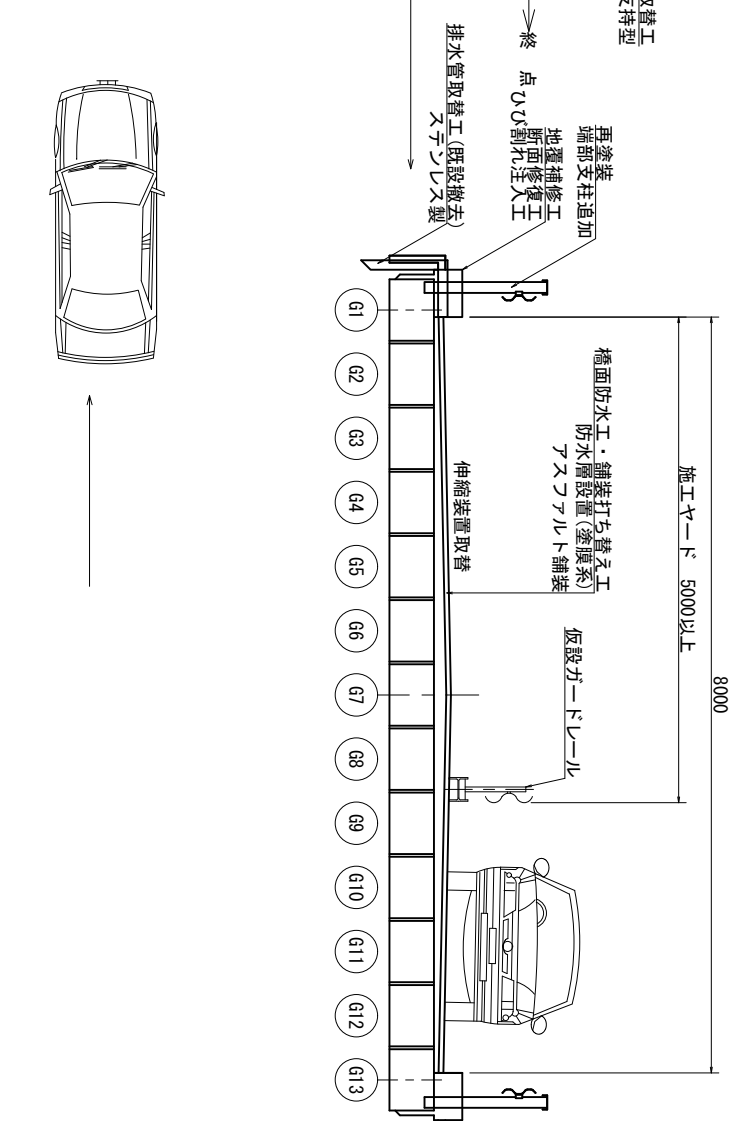
山の田橋 施工要領図(その2)

左側車線施工時



平面図 S=1:60

上部工断面図 S=1:40



施工フロー

ステップ① 仮設材施工
左側車線施工時
・仮設ガードレール設置
・橋梁地覆補修等足場設置

ステップ② 左側車線橋面工施工時

・舗装撤去
・伸縮装置取替
・地覆補修工・防護柵取替
・排水管取替
・橋面防水・舗装敷設

ステップ③ 仮設材施工
右側車線施工時

・橋梁地覆補修等足場撤去
・仮設ガードレール移動・設置
・橋梁地覆補修等足場設置

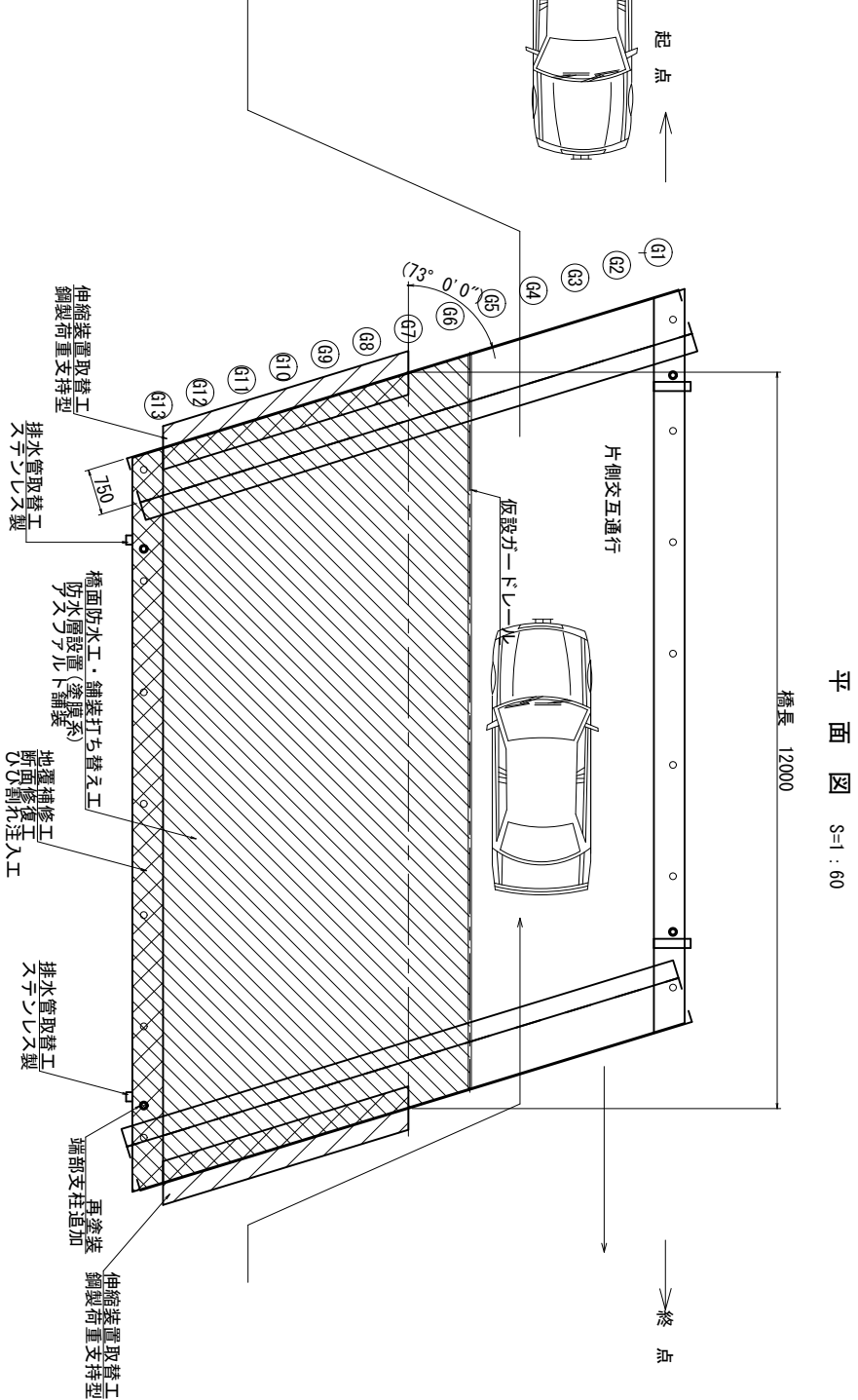
ステップ④ 右側車線橋面工施工時

・舗装撤去
・伸縮装置取替
・地覆補修工・防護柵取替
・排水管取替
・橋面防水・舗装敷設

ステップ⑤ 仮設材施工

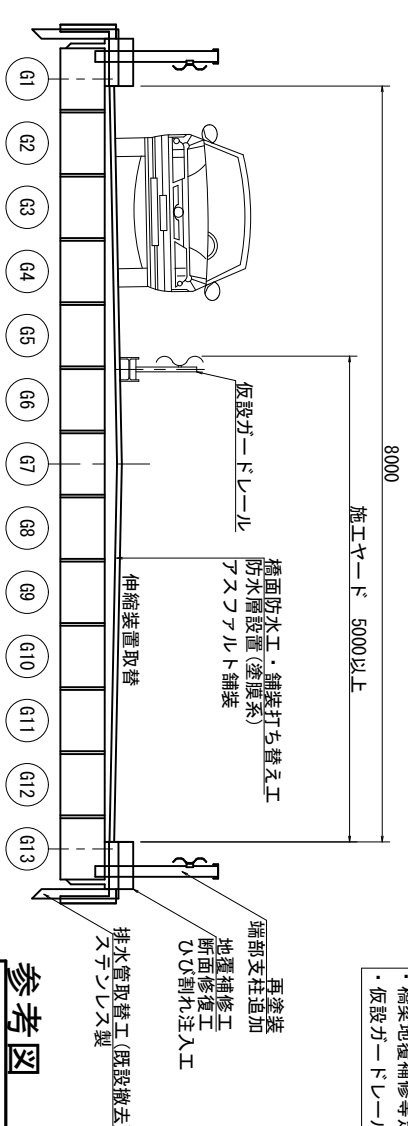
・橋梁地覆補修等足場撤去
・仮設ガードレール撤去

右側車線施工時



平面図 S=1:60

上部工断面図 S=1:40



参考図

令和元年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修工事
第15/15 施工要領図(2) 図示

箕輪町 山の田橋

箕輪町役場

管理技術者 工藤博正

設計会社 (株)ノイド 調査技術者 牧田一男

測量会社 測量会社